



文部科学省

地(知)の拠点

十文字学園女子大学

NAVI

～ 地域発展の力となるために、

今できること～

2018

教員ナビ



叶えたい、 その気持ちが 「^{プラス}」となる

都心から30分圏内にありながら四季を通じて自然とふれ合えるキャンパス。
信頼できる教員や友人たちとの出会い。
そして、女性同士だからこそ存分に自分らしさが発揮できる環境の中、
新しい自分を発見し、社会に歩いていく準備を始めます。

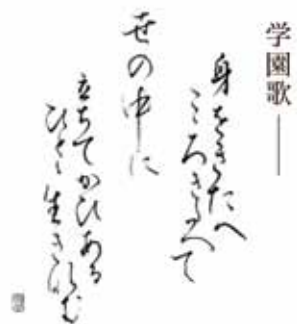
新芽が空をめざすように、目標に向かって成長しようとする学生を
見守り、支える〈学び〉が十文字学園女子大学にあります。

女性の自立・生き方を学び、教養を身につける共通科目と
理想の未来に近づくために必要な9学科の専門科目が
めざす分野の道筋を明るく照らします。

創立以来95年、「社会に役立ちながら、自分の夢を叶えていく女性」を育成する
十文字の伝統は、確実に今日へと受け継がれています。

建学の精神・教育理念

本学の建学の精神は、学園歌「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の中に込められています。自分自身の生きがいを持ち、自分の力で世の中の役に立てる女性を育てたいと願う創立者の精神は、現在も脈々と受け継がれています。



学園歌

■ 学長あいさつ

社会貢献活動の 人的資源ナビゲーター

十文字学園女子大学 学長 志村 二三夫



この冊子はその名のとおりに、本学教員のとくに社会貢献活動についての案内書(ナビゲーター)です。大学では、本来的使命の教育と研究に加え、社会貢献の重要度が急速に高まっています。教育や研究は次世代人材育成、研究成果の社会還元等をめざしており、それ自体が長期的に見れば間違いなく社会貢献にあたります。その一方、近頃は地域社会・産業界・行政との連携協力、国際協力、公開講座等といったより直接的な取組みを通じた、地域社会・経済社会・自治体や国・国際社会等の広い意味での社会全体の発展への貢献が求められるようになっていきます。

本学では、地域に根ざす大学としての実績を背景とした取組みが、平成26年に文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、大学全体として地域貢献に力を注いでいます。これを契機に、学生達が地域に出て活動する機会が格段に増え、地域の皆様を先生としてしっかり成長しています。地域に資する成果が上がるとともに、教員の資質向上に役立っています。この冊子は、地域貢献とともに、本学教員が広い意味での様々な社会貢献にどのような形で関わるができるかのヒントとなる人的資源のナビゲーターです。「私たちのチームにこの教員とこの教員に参加してもらうと、何か新しく、面白い、社会に役立つことができそうだ」。そのようなマッチングにこの教員ナビを少しでも用立てて頂ければとてもうれしく思います。

■ 沿革

1922	大正 11	文華高等女学校開校 (設立者 十文字こと、戸野みちゑ、斯波安)
1937	昭和 12	十文字高等女学校に校名改称
1951	昭和 26	学校法人十文字学園に組織変更
1966	昭和 41	十文字学園女子短期大学開学〔家政科、幼児教育科〕
1968	昭和 43	十文字短大附属幼稚園開園
1973	昭和 48	学科〔初等教育学科、文学科国語国文専攻、 文学科英語英文専攻〕開設
1974	昭和 49	家政学科を家政専攻と食物栄養専攻に分離
1976	昭和 51	専攻科〔国文、英文、家政、食物栄養、 幼児教育、初等教育〕開設
1985	昭和 60	図書館完成
1989	平成 元	学科〔教養学科〕開設
1991	平成 3	専攻科〔教養〕開設
1992	平成 4	家政学科家政専攻を家政学科生活学専攻に改称
1996	平成 8	十文字学園女子大学開学 〔社会情報学部社会情報学科〕
2000	平成 12	十文字学園女子大学社会情報学部 〔コミュニケーション学科〕開設 十文字学園女子大学留学生別科開設

2002	平成 14	十文字学園女子大学人間生活学部 〔幼児教育学科・食物栄養学科〕開設 十文字学園女子短期大学を 十文字学園女子大学短期大学部に改称
2003	平成 15	十文字短大附属幼稚園を 十文字女子大附属幼稚園に改称 記念ホール完成
2004	平成 16	十文字学園女子大学人間生活学部 〔人間福祉学科、人間発達心理学科〕開設
2007	平成 19	人間生活学部幼児教育学科を 児童幼児教育学科に改称、 併せて2専攻〔幼児教育専攻、児童教育専攻〕設置
2009	平成 21	10号館完成
2010	平成 22	大学院〔人間生活学研究科 食物栄養学専攻〕開設
2011	平成 23	新〔人間生活学部〕開設
2012	平成 24	短期大学部〔表現文化学科〕開設
2015	平成 27	十文字学園女子大学人間生活学部〔健康栄養学科、 文芸文化学科〕開設 人間福祉学科に社会福祉コース・保育コースと社会 福祉・介護福祉コースを開設
2016	平成 28	大学院〔人間生活学研究科 食物栄養学専攻 博士後 期課程〕開設



設立者 十文字 こと



創立当時の校舎(1922年頃)



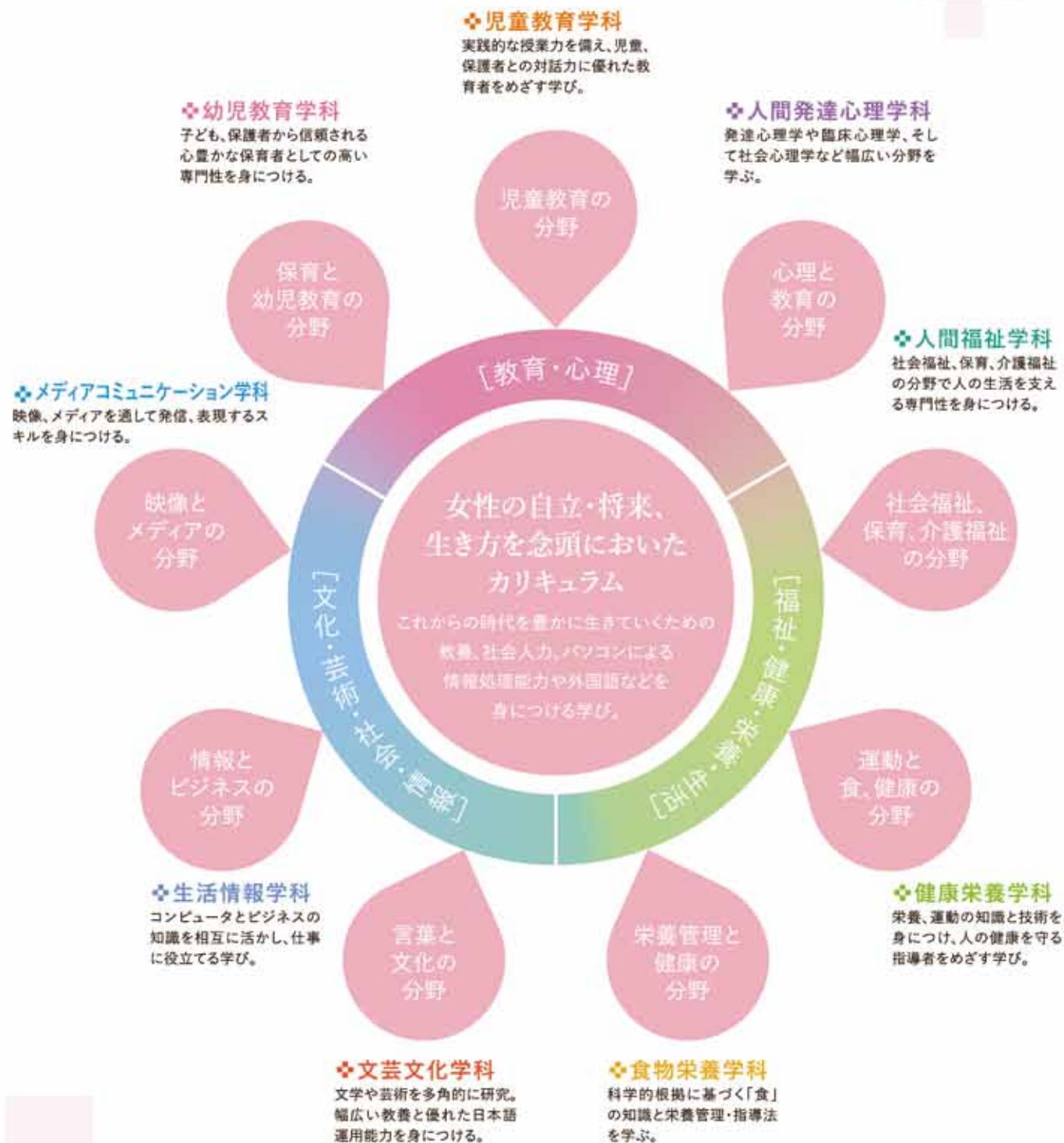
戦災前の学校全景(1936年)



短大全景(1975年頃)

十文字の9学科

将来の目標に合わせて学ぶ9つの専門分野と学科の垣根を越えた柔軟性のある充実したカリキュラムで社会に求められる知識・教養を身につけます。



テーマ一覧

本学教員の研究テーマを12分野に分けてご紹介します。

ジャンル	内 容	ページ
01. 教 育 学	教育工学、教育情報学、教育方法学、ICT活用、メディア活用、教育の思想と歴史、授業研究、教師教育、高等教育、デザイン教育（グラフィック・映像）、外国語教育、中国語教育、日本語教育、特別支援教育、発達障害教育、養護学、学校保健、健康増進論、保健体育科教育学、国語教育（小学校、中学校）、知的障害教育、算数科教育学（小学校算数科の授業づくりに関連した研究）、英語教育、教育心理学、作文指導、文章産出、教育評価、生涯学習、地域連携、社会科教育、教育課程論、教育行政、学校運営、理科教育法、教育内容・方法、体育科教育学（小学校体育科の授業づくりに関連した研究）、教育学、保育制度、音楽教育学、幼児音楽学、音楽史、英語教育、教員養成・育成の内容と方法	P. 05—12
02. 心 理 学	認知心理学、実験心理学、発達教育工学、発達臨床心理学、発達障害学、特別支援教育、発達心理学、社会心理学、学校カウンセリング（困難を抱える子どもやその親への支援）、神経心理学、高次脳機能障害学、脳心理学、臨床心理学、カウンセリング、キャリア発達、社会心理学（親密な人間関係の進展と崩壊）、教育心理学、子どもの認知の発達	P. 13—17
03. 子 ども 学	子どもの思考と学びの発達、学習支援、幼児教育学、保育学、子どもの健康増進と病気の予防、子どもの成長発達、発達臨床学、子育て支援、乳児保育、障害児保育、障害のある子どもの発達支援や育児相談、絵本の読みあいの醍醐味の紹介、学校保健、性教育、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ、スポーツ心理学、発達心理学、教育心理学、保育、子育て・子育て支援、臨床心理、発達臨床心理、障碍児保育、子ども、遊び、保育学、発達相談、発達障害の療育方法	P. 18—24
04. 福 祉	子ども家庭福祉、児童福祉施設の専門職の在り方、学童期の子育て・子育て支援、障がいのある人への支援、高齢者への支援、地域福祉、高齢者福祉、対人援助論、傾聴訓練と傾聴ボランティアの活動支援、福祉と人権、社会福祉法制、女性福祉、福祉教育、ボランティア、社会福祉、子ども家庭福祉、ソーシャルワーク、児童福祉施設における援助、地域ケア、児童福祉、子育て支援、社会的擁護、社会福祉学、介護福祉（理論・方法論・教育方法・制度）、介護福祉学、ケアマネジメント	P. 25—29
05. 食 ・ 栄 養	栄養学、運動生理学、バイオメカニクス、栄養化学、食品機能学、分子生物学、健康教育、栄養教育、食育、臨床栄養学、食生活学、調理学、高齢者、ジュニアストリートの栄養管理、食品科学、食品化学、調理科学、給食経営管理論、妊娠期の栄養、子どもの食、食品学、食品生化学、食品加工学、食品生理学、味の感じ方、食品の物性、生化学、解剖生理学、食品安全、保健学、食品、調理、畜産学、微生物学、動物遺伝学、分子生物学、免疫学、働く人の安全と健康を守るための研究（労働衛生学）、公衆栄養（各ライフステージの方の健康と食生活、食育、健康増進、疾病予防）、保健栄養学、プレバイオティクス、難消化吸収性糖質の生理作用と代謝、調理科学、食文化、給食経営管理、食品機能学、給食の品質管理、食事計画論、応用健康科学	P. 30—40
06. 経 済 ・ 経 営 学	民法、ビジネスと法律、消費者法、簿記論、財務会計論、租税法、国際税務戦略論、金融規制、バブル崩壊後の経済政策、経営学、マーケティング、生活経済、商品開発、企業論、政治学、日本政治論、比較政治論	P. 41—44
07. 社 会 学	家族社会学、農村社会学、政治学、国際関係論、政治とメディア、男女共同参画、コミュニティ、農村生活、女性起業	P. 45—46
08. メディア・情報・自然科学	新聞、地域メディア、NIE（教育に新聞を）、ソフトウェア工学、データベース、検証、データの分析、教育工学、教育方法学、コンピュータ、物理学、計算機実験、地理情報システム（GIS）、地域分析、情報処理教育、健康管理、小児保健、喫煙対策、健康教育、経営工学、信頼性工学、ネットワーク、インターネット、セキュリティ、ユニバーサルデザイン	P. 47—51
09. 文 化 ・ 文 学	平安時代の文化と文学、図書館学、図書館文化史、英文学（現代演劇）、英文学におけるユーモアと笑い、舞台芸術、宝塚研究、情報教育、日本近代文学、翻訳文学史、着物、ファッション、万葉集、古事記、奈良時代の文字で記録された作品、口承文芸、民族事象、日本美術史、江戸時代絵画史、声の日本語、朗読、コミュニケーション、日本霊異記	P. 52—56
10. 言 語 学	中国文学、日中文化交流、中国語教育、外国人のための日本語教育、言語学・英語学、ことばのしくみ、英語のしくみ、ことばへの気づき、英語音声学、音韻論、日本語、コミュニケーション、話しことば、方言学、コミュニティーデザイン、神経言語学、神経哲学	P. 57—60
11. 芸 術 ・ スポ ー ツ	スポーツビジネス、女子サッカー、地域スポーツ、オリンピック、ピアノ、音楽表現、音楽アウトリーチ、サッカー指導、形態計測学、バイオメカニクス、測定評価学、曲、編曲、音楽制作、プロデュース、教科教育、美術教育、造形教育、運動の学習と発達、知覚と運動、美術教育、幼児の造形表現、声楽、幼児音楽、子どもの身体表現、舞踏教育学	P. 61—65
12. 健 康	健康増進学（加齢と運動と健康に関する研究）、健康のためのダンス、内科学、内分泌代謝学、男性ホルモン、スポーツ医学、健康維持するための食に関する分野、循環器内科学、心臓リハビリテーション、運動生理学	P. 66—68



教員NAVI 掲載教員一覧(五十音順)

	氏 名	ページ数
ア行	赤間 恵都子	P.53
	安達 一寿	P.06
	阿部 史	P.42
	綾井 桜子	P.06
	有田 安那	P.31
	飯田 路佳	P.67
	池川 繁樹	P.31
	池田 まさみ	P.14
	池間 里代子	P.58
	石川 敬史	P.53
	石田 有理	P.19
	石野 榮一	P.48
	石山 隆之	P.62
	伊集院 理子	P.19
	泉 直子	P.48
	井手 隆	P.31
	伊藤 恵子	P.14
	伊藤 陽一	P.26
	井上 久美子	P.32
	岩本 珠美	P.32
	太田 眞智子	P.26
	大友 由紀子	P.46
	大洞 菜穂美	P.26
	大宮 明子	P.14
	大山 博幸	P.27
	小笠原 典子	P.58
	岡本 節子	P.32
	落合 真裕	P.53
	小野 裕次郎	P.48
	折口 いづみ	P.33
	風間 文明	P.15
カ行	梶野 涼子	P.33
	片居木 英人	P.27
	加藤 暁子	P.54
	加藤 陽子	P.15
	加藤 則子	P.19
	加藤 順弘	P.42
	加藤 亮介	P.49
	上垣内 伸子	P.20
	亀崎 美沙子	P.20
	狩野 浩二	P.06
	川喜田 昌代	P.20
	川口 英俊	P.42
	川瀬 基寛	P.07
	北原 俊一	P.49
	木村 靖子	P.33
	仇 暁芸	P.07

	氏 名	ページ数
カ行	金高 有里	P.34
	久保田 葉子	P.62
	栗崎 純一	P.34
	栗原 隆史	P.49
	権 明愛	P.21
	向後 朋美	P.58
	小長井 ちづる	P.34
	小林 三智子	P.35
	小林 実	P.54
	込江 雅彦	P.43
	近藤 有紀子	P.07
サ行	齋藤 忍	P.08
	齋藤 千景	P.08
	齋藤 麗子	P.50
	佐々木 菜穂	P.35
	佐藤 陽	P.27
	Sheila Cliffe	P.54
	潮谷 恵美	P.28
	設楽 優子	P.59
	柴山 桂	P.62
	志村 二三夫	P.35
	新行内 康慈	P.50
	鈴木 晴子	P.21
	鈴木 雅子	P.21
	鈴木 康弘	P.22
	関根 佐也佳	P.22
タ行	相馬 満利	P.63
	曾矢 麻理子	P.36
	高岩 亜輝子	P.15
	高橋 京子	P.08
	高橋 正人	P.67
	田倉 昭	P.50
	竹嶋 伸之輔	P.36
	武田 比呂男	P.55
	田中 藍	P.36
	田中 茂	P.37
	棚谷 祐一	P.63
	谷嶋 美和乃	P.55
ナ行	田総 恵子	P.46
	角田 真二	P.51
	東畑 開人	P.16
	徳野 裕子	P.67
	富井 友子	P.28
	富山 哲也	P.09
	長尾 昭彦	P.37
	永作 稔	P.16
ナ行	長澤 伸江	P.37

	氏 名	ページ数
ナ行	中島 万季	P.38
	長田 瑞恵	P.22
	中西 郁	P.09
	中村 禎子	P.38
	中山 成夫	P.43
	名倉 秀子	P.38
	名達 英詔	P.63
	二宮 紀子	P.09
	二瓶 さやか	P.28
	野田 詩織	P.39
ハ行	林 綾子	P.39
	樋口 一貴	P.55
	日出間 均	P.10
	平田 智秋	P.64
	福田 智雄	P.29
	福田 仁	P.10
	藤本 正徳	P.43
	布施 晴美	P.23
	星野 敦子	P.10
	星野 祐子	P.59
マ行	堀井 貴子	P.39
	堀竹 充	P.11
	増田 早哉子	P.16
	松岡 敬明	P.11
	松永 修一	P.59
	松本 晃子	P.44
	松本 晃裕	P.68
	宮内 寿彦	P.29
	宮川 保之	P.11
	宮城 道子	P.46
ヤ行	宮野 周	P.64
	向井 美穂	P.23
	森田 勝之	P.60
	藪崎 伸一郎	P.64
	山口 由美	P.29
	山崎 優子	P.40
	山下 倫美	P.17
	山田 陽子	P.23
	山本 悟	P.12
	山本 茂	P.40
ラ行	横井 紘子	P.24
	好本 恵	P.56
ワ行	呂 小耘	P.24
	綿井 雅康	P.17
	渡邊 孝枝	P.65
ワ行	和田 安代	P.40

1

教育学

あ だ ち か ず ひ さ

安達 一寿

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野

教育工学、教育情報学、教育方法学、ICT活用、メディア活用



活動の概要

【担当科目】生活とメディアー生活や社会に浸透しているメディアに関して、その特徴を理解し、上手に活用するための知識や技術を学ぶ。
プレゼンテーション技法ー効果的な情報伝達の方法を学ぶ。併せて、情報活用・問題解決の基本技法について学ぶ。
【研究内容】●学校教育現場での情報教育の在り方
●ICTを活用した効果的な教育方法と授業設計
●アクティブラーニング等と学習者の能力育成の関係や評価

地域連携・社会貢献活動

- 本学 地域連携推進機構 地域教育開発部門長
- 日本教育情報学会 副会長 ● 教職員支援機構 客員フェロー (2017)
- 所沢市立教育センター「これからのコンピュータネットワーク調査活用研究協議会」研究指導者等

具体的な活動

- 本学COC事業の推進にあたり、地域志向教育プログラムの企画・開発、学生活動のイベント企画等にあたっている。

あ や い さ く ら こ

綾井 桜子

人間生活学部 児童教育学科 准教授

専門分野

教育の思想と歴史



活動の概要

【担当科目】「教育学概論」「道徳教育」他
【研究内容】●私たちの教育についての見方や教育の仕組みが欧米から多くの影響を受けて成り立っていることに着目し、ヨーロッパ、特にフランスの教育観や教育思想を近現代の思潮や社会の変化も含めて調べています(特に、教養形成と教育)。また、道徳教育について理論・実践の両面から取り組んでいます。

- 【単著】『教養の揺らぎとフランス近代 知の教育をめぐる思想』(勁草書房、2017年)
【共著】フランス教育学会編『現代フランスの教育改革』(明石書店、2017年)
教育思想史学会編『教育思想事典』(増補改訂版)(勁草書房、2017年)
眞壁宏幹編『教育思想史』(慶應義塾大学出版会、2016年)
森田尚人・森田伸子編『教育思想史で読む現代教育』(勁草書房、2013年) 他

具体的な活動

- 教職についての幅広い見方が、今ここにある教育現実を別様にみることを可能にし、教育問題への解決の一助となりうることを教職志望の学生とともに考えてゆきたいと思います。

か り の こ う じ

狩野 浩二

副学長補佐(教育担当) / 人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野

授業研究、教育方法学、教師教育、高等教育



活動の概要

【担当科目】「教育学概論A」「教育方法A」「表現活動(基礎)」「表現活動(応用)」「教育学」「教職実践演習」
【研究内容】学校での授業について、教材解釈や授業展開の方法、子どもの学習活動を質的に高める方法の研究を中心にしています。学校の先生方の授業をよくするために、実際の授業に入って、先生方と一緒に勉強することを続けています。

地域連携・社会貢献活動

- 地域の学校で校内研修、教員研修のお手伝いをしています。
- 【COC事業】
- 中山間地域と都市とをつなぐ人材育成について、実践的に研究しています。

具体的な活動

- 学校では授業展開を劇的にかえるための教材解釈や発問について研究し、実践しており、授業(表現活動)では、子どもをいきいきとさせる具体的な指導方法について、学校の先生方と一緒に研究しています。
- 中山間地域と都市との間をつなぐにはどうしたらよいか、学生と一緒に実践しています。

泡瀬小で表現活動「利根川」を発表する児童教育学科学生 ▶



か わ せ も と ひ ろ

川瀬 基寛

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野

教育工学(メディア・リテラシー教育・情報教育・ICT活用)、
デザイン教育(グラフィック表現・映像表現)



活動の概要

【担当科目】「情報デザイン論」「映像表現論」「色彩論」「グラフィックデザイン」「メディアアート論」他
【研究内容】●ソーシャルメディア時代におけるメディア・リテラシー教育と教材開発
●幼児の安全教育におけるメディア教材の活用
●HMD(ヘッドマウントディスプレイ)を利用したVR学習空間の開発
●一般大学におけるデザイン教育に関する授業デザイン 等

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】●地域活性化事業・団体へのデザイン支援 ●子ども元気プロジェクト2018
- 教員免許状更新講習(ICT活用、メディア・リテラシー、情報モラル) 講師 ● 保護者向け教養セミナー講師
 - 所沢市立教育センター「ICTを活用した授業づくり研修会」指導者 ● 神奈川県立総合教育センター「学校教育におけるメディア・リテラシー研修講座」講師 等

具体的な活動

地域のデザインリソースとして、様々なデザイン依頼を受け、学生と共に積極的にデザイン支援活動をしています。

- 埼玉県男女共同参画課「デートDV防止啓発」広報物デザイン
- 新座市人権推進課「成人式配布用デートDV啓発」広報物デザイン
- 「大江戸新座祭り」配布用缶バッジデザイン ● 志木市商工会イベント企画・デザイン 等

き ゅ う し ゃ お ゆ ん

仇 暁芸

語学教育セクター 講師

専門分野

外国語教育、中国語教育、日本語教育



活動の概要

【担当科目】「中日異文化理解」「中国語II」「英語II」「プレゼミナール」
【研究内容】●中国語教育：中国語の外来語認識―特に音訳表記を中心に
●日本語教育：中国人留学生の日本語ディクテーション
●その他：留学生の心理、異文化接触

地域連携・社会貢献活動

- 授業の一貫として学生を新座市の睡足軒の森に連れて行ったりなど、新座市と連携をしている。また、新座市国際交流委員会とも連携を持ち、中国の文化などを紹介している。

具体的な活動

- 市役所の職員と打ち合わせをしたりしている。新座市国際交流委員会主催のクリスマスパーティーの講師として、新座市民に中国の文化を紹介したり、簡単な中国語を教えたりしている。また、留学生を連れて、新座市主催のバスツアーに参加している。



学生と訪れた平林寺での集合写真

こ ん ど う ゆ き こ

近藤 有紀子

人間生活学部 幼児教育学科 助教

専門分野

教育学、保育制度



活動の概要

【担当科目】「保育制度・保育政策論」他
【研究内容】●認定こども園を中心とした保育制度

具体的な活動

- 認定こども園を中心とした保育制度を研究しています。
幼保連携型認定こども園での参与観察などを行いながら、現在の課題とともに、可能性(よさ)について、探求しています。

1. 教育学

さいとう しのぶ

齋藤 忍

人間生活学部 児童教育学科 准教授

専門分野 特別支援教育、発達障害教育



活動の概要

- 【担当科目】「特別支援教育概論」「特別支援教育指導法」「知的障害教育概論」他
- 【研究内容】●LD・ADHD・ASD等、多様な学びを支える支援に関する研究
- 特別支援学級や通級指導教室における指導支援・教材開発についての研究
 - 通常の学級におけるUDL(学びのユニバーサルデザイン) による授業改善に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 【社会貢献活動】●新座市就学支援委員会委員 / 新座市教育相談センター巡回相談員
- 新座市立野火止小学校コミュニティー・スクール協議会委員
 - 埼玉県・東京都・神奈川県・福島県等各地の特別支援教育研修会講師
 - 発達障害に関する保護者向け子育て講演会講師 等
- 【COC事業】●地域志向教育推進「地域における子育て支援の中核的な役割を担う現職保育者育成に繋がる発達相談モデルの構築」



多層指導モデルMIM指導者講習会(新座小)

具体的な活動

- 保育や授業の参観、心理アセスメント等を通して、幼児・児童・生徒の抱える困難さを把握するとともに、支援の在り方や授業改善について、現場の先生方と一緒に考えています。また、特別支援学級や通級指導教室、通常の学級の先生方に、多層指導モデルMIM・SST・TEACCHプログラム等の具体的な指導法について、お子さんの実態に合わせた指導助言を行っています。
- COC事業では、保育所・幼稚園に出向いての発達相談を通して、地域の子育て支援の中核となり得る保育者育成の在り方を検討しています。

さいとう ちかげ

齋藤 千景

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 養護学、学校保健



活動の概要

- 【担当科目】「養護概説」「健康相談活動」「救急処置活動」
- 【研究内容】●養護学の学問体系に関する研究
- 養護実習に関する研究
 - 養護教諭の資質を高めるための方策についての研究(ケースメソッド教育の効果に関する研究)

地域連携・社会貢献活動

- ケースメソッド教育を用いて行う研修を教員・養護教諭・コメディカルを対象に実施。
- 放課後児童指導員認定資格研修講師

たかはし きょうこ

高橋 京子

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 健康増進論、保健体育科教育学



活動の概要

- 【担当科目】「体育原理」「保健体育科教育法」
- 【研究内容】●健康寿命の延伸は、超高齢社会を迎えたわが国において重要な意味をもつ。社会体育、学校体育の分野でどのようにこの国を支えていくかを考え、行動している。
- 小中一貫、コミュニティスクールの展開は、学校教育の充実と地域コミュニティの構築のため、実現すべき課題である。具体的な手法を広めることを使命と考えている。

地域連携・社会貢献活動

- さつまいもプロジェクト、ナウスパなどの学生の社会貢献活動の指導
- 地域のシニア世代の方々を対象としたシニア健康教室の開催
- 小中一貫教育、コミュニティスクールについて、講演、実施に向けた指導助言



新座市収穫祭に出店▶
たくさんの方々に協力いただき、完売

具体的な活動

- 平成23年、さつまいもプロジェクトが始まった。新座市産の芋焼酎「指月喝」の材料となるさつまいもの栽培に協力し、さつまいも50kgをいただき、そのさつまいもでお菓子を作り、新座市のイベントで販売し、その収益を東北支援につなげてきた。地域の方々に支えられ、この活動も7年目を迎える。新たに、廃棄されることの多い里芋の親芋を使った新たなお菓子づくりに挑戦し、地域貢献の拡大を目指している。

1. 教育学

とみやま てつや

富山 哲也

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 国語科教育(小学校、中学校)



活動の概要

- 【担当科目】「初等国語科教育」「授業研究」「国語」「読書と豊かな人間性」他
- 【研究内容】●小学校・中学校国語科の指導と評価についての実践的な研究
- 学習指導要領、言語活動の充実、主体的・対話的で深い学びなど、学力向上と学習指導に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 新座市学校評価第三者評価委員
- 新座市子ども暗唱・弁論大会審査員
- 清瀬市アクティブ・ラーニングリーダー養成講座講師
- 新座市、和光市、志木市、東京都の小・中学校、教育委員会における校内研修(国語) 講師 等

具体的な活動

- 清瀬市アクティブ・ラーニングリーダー養成講座では、各学校において「主体的・対話的で深い学び」を推進するリーダーの育成について、教育委員会とともに取り組んできました。
- 各区市の研究発表会や校内研修会には、本学の学生も多数参観させていただきました。

なかにし かおる

中西 郁

人間生活学部 児童教育学科 教授 / 特別支援教育センター長

専門分野 特別支援教育、知的障害教育



活動の概要

- 【担当科目】「特別支援教育概論」「知的障害教育概論」「知的障害教育課程論」「特別支援学校教育実習」他
- 【研究内容】●特別支援学校教諭免許取得にかかわる特別支援学校教育の授業研究
- 特別支援教育の体制整備及びインクルーシブ教育システムの推進に関する研究
 - 知的障害教育における学力問題などの研究
 - 知的障害者の生涯学習支援の研究

地域連携・社会貢献活動

- 新座市教育相談センター巡回相談員
- 東京都立特別支援学校学校運営連絡協議会委員長(4校)
- 東京都新宿区立学校第三者評価委員
- 朝霞市就学支援委員会委員長
- 埼玉県立特別支援学校評議員(2校)
- 社会福祉法人パイの会評議員

具体的な活動

- 特別支援学校、特別支援学級等の特別支援教育に関する研究会の講師、特別支援教育に関する教員の研修会講師、特別支援教育に関する一般の理解啓発を図るための講演会講師、障害のある方への生涯学習支援等を行っている。また、特別支援学校の学校評議員会委員として学校運営等への改善・充実に向けた指導・助言を行っている。

にのみや のりこ

二宮 紀子

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 音楽教育学、幼児音楽学、音楽史



活動の概要

- 【担当科目】「保育内容の指導法(音楽表現)」「音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術)」「音楽基礎Ⅲ(楽器演奏)」「幼児音楽論」「ミュージック・クリエーション」
- 【研究内容】●子どもが歌うとはどういうことか
- 幼少連携の観点から考える子どもの歌の歌唱指導
 - 幼児のリズム教育

地域連携・社会貢献活動

- 教育委員会共同主催による公開講座「リトミック」担当
- 教員免許状更新講習講師として音楽に関わる科目を担当

具体的な活動

- 「赤ちゃんから大人まで、音楽はみんなのもの」をモットーに、特に乳幼児から小学校に向けての音楽の学び、専門教育ではない一般の音楽教育の在り方を研究してきました。そろそろ研究成果を講座のような形で還元することを考えています。

1. 教育学

ひでまひとし

日出間 均

学科長／人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野

算数科教育学(小学校算数科の授業づくりに関連した研究)



活動の概要

- 【担当科目】「算数」「初等算数科教育」「授業研究」「教職入門」「教職基礎演習」「教育実習事前事後指導」他
- 【研究内容】●小学校算数授業の指導法・指導技術・教材開発についての研究
- 小学校現職教員の研修プログラムの確立についての研究
 - 算数科における問題解決学習の在り方についての研究

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県、東京都の小学校研究の支援
 - 新算数教育研究会常任理事（監査）、同月刊誌執筆
- 【COC事業】
- 地域志向教育推進「小学校現職教員における授業力向上研修プログラムの確立と教員養成カリキュラムの融合」
 - 新座市立野寺小学校 学校運営協議会 委員長

具体的な活動

- 清瀬市立芝山小学校算数科授業研究（2017～2018年）指導講師及び学校外向けの研究発表会の企画運営指導
 - COC事業「新座市立野寺小学校・新開小学校現職教育プラン」の実施
- 野寺小学校・新開小学校と合同で現職教員の研修プログラムの在り方を探っている。国語科・算数科・体育科を中核にして、授業実践力及び教材研究に関する資質を向上させる研修を企画し、実施している。小学校教員を志望する学生も適宜研修に参加し、体験的に研修の在り方を学び、意識改革を図る。

ふくだひとし

福田 仁

人間生活学部 語学教育センター 教授

専門分野

英語教育



活動の概要

- 【担当科目】「英語Ⅰ」「アドバンスト・リーディング」「アドバンスト・リスニング」「インターネット英語」「異文化理解」他
- 「インターネット英語」では、ネット上で利用可能な英語学習サイトやスマートフォンアプリなどを紹介し、自律的な学習習慣を身につけることを目標としています。
- 【研究内容】●英語教育、外国語の習得などに関すること

地域連携・社会貢献活動

- 特定非営利活動法人「小学校英語指導者協議会」のトレーナー検定委員として、検定試験の審査に関わってきました。また、社会人を対象にした小学校英語指導者養成講座を企画・運営してきました。

ほしのあつこ

星野 敦子

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野

教育評価、生涯学習、地域連携



活動の概要

- 【担当科目】「生涯学習概論」「学校制度論」「教育方法」「地域で学ぶ」「埼玉の地理・歴史・文化」他
- 【研究内容】●地域連携活動を核に生涯教育制度や地域の人材育成
- 地域連携活動の教育効果、町おこし等に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 「ふるさとの緑と野火止用水を育む会」（HUGネット）の創設
- 石巻支援活動（経済産業省草の根NPO等支援活動）
- 彩の国ふるさと支援隊（中山間支援 神川町 阿久原地区）
- 商店会支援活動
- ネパール学校支援活動 等

具体的な活動

- 学生ボランティアサークル「ゾウキリンくらぶ」を設立し、メンバーとともに地域の皆様との連携活動を展開中。
- HUGネットによる雑木林保全と子ども自然体験活動、商店会や商工会青年部との連携活動 等



中山間支援活動 神泉小学校での運動会支援

1. 教育学

ほりたけみつる

堀竹 充

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野

社会科教育、教育課程論



活動の概要

- 【担当科目】「初等社会科教育」「教材研究A・B」「学級経営と教科指導」「入門ゼミナール」「授業研究A」「教育実習事前事後指導」「教職実践演習」「総合学習の授業づくり」「卒業研究」
- 【学校経営への助言】●校内研究授業への指導・助言
- 教員研修についての指導・助言
 - 教材開発への指導・助言

地域連携・社会貢献活動

- 小学校における研究活動への指導・助言
- 地域の図書館を活用した教育活動への指導・助言
- 地域協働学校と連携した教育活動内容の開発
- 近隣大学と連携した地域の伝統野菜復活活動への支援

具体的な活動

- 依頼のあった学校に対して授業づくり・教材づくりの段階からの指導・助言や、授業分析方法の指導
- 多様な実践事例等の提供
- 近隣校同士の共同研究活動の機会の創出
- 教材研究や教材づくりの実践事例の収集と提供
- 評価方法の研究

まつおか たかあき

松岡 敬明

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野

英語教育、教育行政、学校経営



活動の概要

- 【担当科目】「英語科教育法」「外国語活動」「教職発展演習」他
- 【研究内容】●英語の指導法、英語教員の育成についてなど、英語教育に関わる研究
- 小学校外国語の教科化に向けた、小学校英語の指導法や小中の連携に関わる研究

地域連携・社会貢献活動

- 第38代全日本中学校長会会長
- ふるさとの緑と野火止用水を育む会（HUGネット）
- 漁船海難遭児育英会理事
- 電波の適正利用に関するリテラシーの向上の充実強化に係る調査検討会委員
- 地域支援ボランティアサークル「ゾウキリンくらぶ」
- 日本中学校体育連盟参与
- 第7・8期中央教育審議会臨時委員

具体的な活動

- 小中学校における外国語活動や英語の授業研究に、英語教員の資格取得を目指している学生を参加させ、これからの社会が求めている英語が指導できる小学校教員の育成・排出に努めていきたいと考えています。

みやかわ やすゆき

宮川 保之

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野

理科教育、教員養成・育成の内容と方法、教育内容・方法



活動の概要

- 【担当科目】「理科教育法」「教育方法」「教育原理・教育制度」他
- 授業は、反転学習や集団討議法等の創造性開発をねらいとした方法で構成し、学生が思考力や表現力を高めるとともに、知識・技能を修得し、主体的に問題解決していく講義・演習を主として実践。
- 【研究内容】●就学前教育 ●教員養成・育成 ●都市再生 ●人権教育 ●理科教育 ●就学前教育と義務教育のカリキュラムや教育内容・方法の改善とその普及 ●本学と連携する基礎的自治体と共同による教員養成・教員研修（育成）の改善とその普及 ●基礎的自治体の「まちづくり」や生活困窮者支援等の具体的方策に関する実際とその普及 ●人権教育の推進、子供の自己概念の形成や自己肯定感等の高揚に係る研究とその成果の普及 ●理科教育を基本としての科学的な見方考え方を育成する学習指導や授業デザインに関する実践的な研究と普及

地域連携・社会貢献活動

- 「東日本大震災」被災地支援活動（宮城県、福島県）
- 「まちづくり事業体」等の展開に係る基礎的自治体の取組みに参与
- 基礎的自治体の教育委員
- 基礎的自治体（2市）における「いじめ問題専門家会議」委員
- 基礎的自治体における生活困窮者支援事業への参与
- 公立学校の評価委員公立小・中・高等学校における教育研究研修等の支援
- 公立学校の学校評議員

具体的な活動

- 民生費の増大に伴う基礎的自治体の財政問題の解決や「まちづくり事業体」等の創生を目指した取組みに参与している。
- 就学前教育や義務教育等の適切な推進に係る運営に参与し、学校等の教育水準を向上させるための提案や、学校等を訪問しての助言などを行っている。
- 基礎的自治体における「いじめ問題専門家会議」委員などの役を引き受け、学校教育等の課題解決や幼児児童生徒の健全育成に係る助言などの取組を行っている。
- 震災等の被災地や中山間地域の振興に係るボランティア活動を行っている。

やまもと さとる

山本 悟

人間生活学部 児童教育学科 教授

専門分野 体育科教育学(小学校体育科の授業づくりに関連した研究)



活動の概要

【担当科目】「初等体育科教育」「体育」「教職発展演習」「教材研究A・B」「授業研究A・B」「身体運動Ⅰ・Ⅱ」「教職実践演習」「保育内容の指導法(健康)」「卒業研究ゼミナール」「卒業研究」

【研究内容】●小学校体育授業の指導法・指導技術・教材開発、および、小学校現職教員の研修プログラムの確立に関する研究をテーマに取り組んでいる。

地域連携・社会貢献活動

●和光市立北原小学校体育授業研究(2014～2017年)指導講師および学校外向け研究発表の企画運営指導

【COC事業 2015・2016・2017年度】

●地域志向教育推進「小学校現職教員における授業力向上研修プログラムの確立と教員養成カリキュラムの融合」

具体的な活動

●上記に示した2017年度COC事業では、新座市立野寺小学校と新座市市立新開小学校と共同体制で、現職教員の研修プログラムの在り方を探る研究に取り組んでいる。野寺小では算数科と理科を、新開小では国語と体育を中核に私的な研修会参加や講演会実施、研究授業と授業後協議会の設定を切り口に研修プログラムを構築し、その有効性を検証している。年度末には、COC事業年間のまとめとして、小学校毎に報告書を発行している。

2

心理学

い け だ
池田 まさみ

人間生活学部 人間発達心理学科 教授
専門分野 認知心理学、実験心理学、発達教育学工



活動の概要

【担当科目】「認知心理学」「脳と心の科学」「心理学実験実習」他
【研究内容】人間が外界の情報をどのように処理しているのか、その「仕組み」について心理学実験の手法を用いて調べています。また、子ども向けの「心理学実験ワークショップ」を開き、人間の反応や行動を科学的に探る心理学の面白さを伝えています。さらに、子どもたちの「科学的思考力」を育むために、五感を通して体験的に学べる授業プログラムや教材開発などに取り組んでいます。

地域連携・社会貢献活動

【科学館との連携】 ●子ども向け「心理学実験ワークショップ」の開催
【委員会等の活動】 ●日本基礎心理学会理事 ●中学校外部評価委員長 他

具体的な活動

- 心理学入門シリーズ講演
「こころのサイエンス」「こころの発達と教育」「こころの健康を考える」
「推測する力を育む体験教育について考える」
- 中学生・高校生のための心理学入門シリーズ講演
「人間を科学するー心理学の学問としての魅力」「クリティカルシンキング入門ー考える力を育む」他



子ども向け「心理学実験ワークショップ」の様子
／基礎心理学研究第34巻1号「報告」より

い と う け い こ
伊藤 恵子

学科長／人間生活学部 人間発達心理学科 教授
専門分野 発達臨床心理学、発達障害学、特別支援教育



活動の概要

【担当科目】「発達臨床心理学」「障害児・者の心理臨床」「乳幼児期の心理臨床」他
【研究内容】 ●自閉スペクトラム症児に対しては、さまざまな支援が実施されていますが、日常生活への効果に関するデータは少なく、十分な科学的検証に基づいたものは多くありません。そこでこれらのコミュニケーション能力に対する多角的実証データに基づいた養育者による日常的支援を行うために、かれらのコミュニケーション能力の特徴の把握とその関連要因の解明を行っています。

地域連携・社会貢献活動

- 自閉スペクトラム症の方たち及びその保護者の方たちへの支援
- 東京都特別支援教室巡回相談員
- 元子育て支援士養成講座講師
- 元日本臨床発達心理士資格認定委員
- 元足立区就学支援委員 等



自閉スペクトラム症の子どもたちとのグループ活動

具体的な活動

- 埼玉県内の幼稚園・埼玉医科大学・東京電機大学と連携して、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、定期的に自閉スペクトラム症の子どもたちとのグループ活動を本学の学生とともに実施しています。同時にその保護者の方たちの相談に応じたり、情報交換をしたりしています。

お お み や あ き こ
大宮 明子

人間生活学部 幼児教育学科 教授
専門分野 発達心理学、認知心理学



活動の概要

【担当科目】「保育心理学」「児童学演習」「児童学概論」「児童学研究法」「乳幼児発達論」「青年心理学」「表現総論」「教職実践演習」「入門ゼミナール」「卒業研究」
【研究内容】 ●幼児期からの論理的思考の発達過程 ●ことばの発達と思考力との関係
●乳幼児期のテレビゲーム、スマートフォン・タブレット端末等の使用による母子相互作用への影響
●非認知能力育成のための家庭や保育現場での関わり方

地域連携・社会貢献活動

- 地域志向研究「人材育成方針「Jモデル」開発のための基礎的研究」

- 国立教育政策研究所プロジェクト研究「子どもたちの論理的思考力の育成にかかわる調査研究」協力者会議委員、ワーキンググループ主査
- ベネッセコーポレーション幼児通信教育講座「こどもちゃれんじ」委託研究員
- 和光市保幼小連携協議会全体会議 他

具体的な活動

- ブレイフルーニング「幼児の遊びと学び」プロジェクト参画
- 就学前のことばの力と考える力を育てるための家庭でのかかわり方、などを含めた育児サークル等での講演なども行っています。

か ざ ま ふ み あ き
風間 文明

人間生活学部 人間発達心理学科 教授
専門分野 社会心理学



活動の概要

【担当科目】「社会心理学概論」「グループ・ダイナミックス」「データ解析法」他
【研究内容】 ●人が役割行動をどのように獲得するか。世間が自己にどのような影響を与えるか。主に質問紙調査を使った研究。

地域連携・社会貢献活動

【COC事業】
●「学童保育における子どもの安全安心の確保と健全な育成を図るための取り組み」に参加

か と う あ き こ
加藤 陽子

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授
専門分野 学校カウンセリング(困難を抱える子どもやその親への支援)



活動の概要

【担当科目】「発達・教育相談」「児童期から青年期の心理臨床」「児童期の心理学」他
【研究内容】 ●不登校やいじめへの支援方法 ●校内の教育相談体制構築
●産後の母親支援 ●女子大生への親教育

地域連携・社会貢献活動

- 「埼玉県 保護者や教員のための不登校セミナー」講師(「子どもを支えあうために」)
- 「子ども教育支援財団柏分室 教育シンポジウム」講師(「親と教師にできる自信の届け方」)
- 「港区適応指導教室 研修会」講師(「不登校の子どもとその保護者を 支えるために」)
- 「埼玉県放課後児童支援員研修」講師(「児童期の生活」「子どもの発達理解」)
- 「狭山市民大学 生きがい学科」講師(「高齢者とは世代関係」)
- 「女子大生と産後講座」主催(「産後女性の心と身体について考える」) 等

具体的な活動

- 学校カウンセリングの知見を活かし、地方自治体や親の会、民間の支援団体にて、「不登校児童生徒や保護者へのサポート」に関する講演や研修会、ワークショップを多数行っています。
- また、「女子大生と産後講座」と題して、NPO法人マドレボニータから講師を招聘して、女子大生と産後の母親がともに学びあう講座を平成26年度から定期的に継続して開催しています。

た か い わ あ き こ
高岩 亜輝子

人間生活学部 児童教育学科 准教授
専門分野 神経心理学、高次脳機能障害学、脳科学



活動の概要

【担当科目】「知的障害の心理・生理・病理」「病弱の心理・生理・病理」「肢体不自由の心理・生理・病理」
【研究内容】 ●脳神経疾患に起因する認知機能障害についての研究

地域連携・社会貢献活動

- 地域医療における高齢者の自動車運転に関する相談
- 認知症者や家族の生活サポート
- 高齢者におけるレクリエーション活動
- 看護や介護現場における認知機能障害への対応やリハビリテーションに関するアドバイス

具体的な活動

- 地域医療における認知症外来
- 高齢者のレクリエーションサポート活動
- 医療従事者を対象とした講演
- 脳神経疾患におけるリハビリテーション・看護に関するアドバイス
- 全国各地で高齢者レクリエーション研修講師
- 読み書き障害等の高次脳機能障害に関する支援

とうはた か い と

東畑 開人

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野

臨床心理学



活動の概要

【研究内容】●こころのケアについて、古くから近代医学、そして臨床心理学まで、幅広く扱っています。人の心はなぜ病み、どのようにして癒されるのかがテーマです。
【著 書】「美と深層心理学」「野の医者 笑う一心の治療とは何か」があり、現代社会における心の病と治療について、臨床実践とフィールドワークを中心にして研究を行っています。

地域連携・社会貢献活動

●NHK、朝日新聞、東京新聞、埼玉新聞、テレビ埼玉などで取り上げられた「新座市ふしぎマップ」を学生と共に作成しました。地域の方々のお話を伺い、新座市の魅力を発信しようとするプロジェクトです

具体的な活動

●臨床心理学を専門としているので、実際に心理療法を実践しています。

なが さ く み の る

永作 稔

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野

カウンセリング、キャリア発達



活動の概要

【研究内容】●児童期から青年期までの発達やつまづき、進路の悩みについてカウンセリング心理学や臨床心理学、キャリア心理学の立場から研究、実践をしています。たとえば、東京書籍(株)さんといっしょに「はたらきメダル」というキャリア教育用教材を開発しています。

地域連携・社会貢献活動

●新座市内の公立学校での教員研修の講師・研究授業の助言者
●志木市教育委員会いじめ防止対策委員会委員
●都内公立学校学校評議員 ●教育委員会等主催の研修会講師
●(財)日本テクニカルコミュニケーター協会会長

や ま し た と も み

山下 倫実

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野

社会心理学(親密な人間関係の進展と崩壊)



活動の概要

【担当科目】「心理学情報処理法」「恋愛・結婚の科学」「人間関係の心理学」他
【研究内容】●恋愛関係が崩壊してから、どのように人が立ち直っていくかという研究をしています。特に、立ち直りに影響を及ぼすSNSにおける相互作用やソーシャル・サポートの効果などに興味を持っています。最近は、産後に変化していく夫婦関係にも着目した研究を行っています。

具体的な活動

●乳幼児期のお子様を育てているお母様、お父様方を対象に、出産後の心身のケアや夫婦関係のあり方などについて、女子大学生と一緒に学ぶ機会を提供していきたいと考えています。

わ た い ま さ や す

綿井 雅康

副学長／人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野

教育心理学



活動の概要

【担当科目】「教育心理学」「心理統計法」「コミュニケーションの心理学」
【研究内容】●文章を読んで理解し知識を形成する過程、説明的な文章を産出する過程に関する実証的な研究に取り組む。
●児童生徒を対象に開発した教材的な心理検査について、学級経営や生徒理解・指導に活用する実践的な研究に取り組む。

地域連携・社会貢献活動

●新座市内の公立学校での教員研修の講師・研究授業の助言者
●志木市教育委員会いじめ防止対策委員会委員
●都内公立学校学校評議員 ●教育委員会等主催の研修会講師
●(財)日本テクニカルコミュニケーター協会会長

具体的な活動

●連携市内の小中学校で活動する学校支援ボランティア学生のとりまとめや事前指導を担当している。
●「心理検査の活用に関する実践的な研究」は、連携市内の学校に協力を依頼して進めており、先生方の実践に資することを主たる目的としている。

ま す だ さ や こ

増田 早哉子

人間生活学部 人間発達心理学科 有期助手

専門分野

認知心理学、子どもの認知発達



活動の概要

【研究内容】●顔と声の認知：顔や声の情報がどのように処理されているのかについて研究をしています。感情、注意、年齢や魅力、関心のように、顔や声は様々な情報を伝達します。それら重要な情報をヒトがどのように受けとめているのかを研究しています。
●聴覚障碍児の認知発達：言葉をおぼえる前に音が聞こえなくなると、言葉の発達も遅れてしまいます。言葉の発達の遅れが、概念の獲得や社会性の発達にどのように影響しているのかを研究しています。

地域連携・社会貢献活動

●音のきこえや発達に障碍をもつ子どもに、言語発達支援や情報処理支援を行っています。

具体的な活動

●東京都内の聴覚障碍児支援施設において、言語学習の指導や、PC教育を行っています。

3

子ども学

い し だ ゆ う り

石田 有理

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 子どもの思考と学びの発達、学習支援



活動の概要

- 【担当科目】「乳幼児期の心理学」「行動観察法」「発達心理学外書購読」他
 【研究内容】● 幼児期の知識獲得における分類、比較、推論等の発達過程についての研究
 ● 幼児期の学習における大人の支援の在り方、教材の効果に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 乳幼児を育てている母親・父親が女子大生とともに、産後のケアや、子どもの発達、パートナーシップなどについて学ぶ講演会やワークショップなどを企画している。
- 埼玉県内の特別支援学校において発達や支援に関するアドバイザーを務める。

い じ ゅ う い ん み ち こ

伊集院 理子

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 幼児教育学、保育学



活動の概要

- 【担当科目】「保育者論」「保育内容の指導法(人間関係)」「保育内容の指導法(環境)」「保育実践論」他
 【研究内容】● 幼稚園の現場の具体的な事例から、一人ひとりの子どもの成長発達を促す保育実践の在り方を探求する。日本の幼児教育実践の中で継承されてきた保育という営みについて、歴史的な視点からも探求することで、今求められている保育の質について考察する。

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県幼稚園等教育課程説明会「これからの時代に求められる幼稚園教育」にパネラーとして登壇(平成29年8月)

具体的な活動

- かけがえない乳幼児期にどのような体験を重ねていくことがもともと持ち合わせている子ども達の伸びる力を確かなものにしていけるか、長らく保育現場で実践を重ねてきた体験を踏まえて、乳幼児期の生活の在り方、援助の在り方について研究しています。現職の実践者、幼稚園保護者対象の講師なども務めてきました。

か と う の り こ

加藤 則子

副学長 / 人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 子どもの健康増進と病気の予防 子どもの成長発達



活動の概要

- 【担当科目】「児童保健学I」「児童保健学II」「児童保健学演習」「健康教育学」「健康教育学演習」
 【研究内容】● 小児の身体発育 身体発育曲線の作成法 東日本大震災が小児の健康と発育に及ぼした影響に関する検討
 ● 子育て技術の支援プログラムを地域の親に施行した場合の効果判定とよりよい介入法の開発
 ● 地域の子育て支援ニーズの把握と提供体制に関する検討
 ● 不妊治療の普及がふたごの出生数やそのリスクに及ぼした影響

地域連携・社会貢献活動

- 大学でのプロジェクト研究として、新座、和光、志木、朝霞4市における官産学の連携に基づいた前向き子育て文化の醸成と子育て支援基盤の整備に関する取り組みを実施している。
- 国研、自治体、大学法人の研究評価委員等を務めた。

具体的な活動

- 前職国立保健医療科学院において、母子健康手帳に載せる乳幼児身体発育値を平成2年、12年、22年の3回にわたって作成してきた。平成32年値の円滑な作成に向けて前職場と連携して準備を進めている。
- 子育て技術を伝え、前向き子育てを推進する育児支援プログラム「トリプルP」をオーストラリアから日本に導入し、評価研究を実践し、普及に努めた。
- 児童虐待予防・再発防止のため児童相談所の親支援のためのマニュアルを作成した。

か み が い ち の ぶ こ
上垣内 伸子

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野 保育学、発達臨床学



活動の概要

- 【担当科目】「幼児教育学」「保育内容総論」「幼稚園教育実習」他
【研究内容】【キーワード】幼児教育・保育、障害児保育、発達臨床相談、子育て支援、保育者養成
- 幼児の自発的生活と遊びを中心とした保育と保育援助ーその歴史と世界潮流
 - 日本の保育におけるESD(持続可能な開発のための教育) の在り方の検討
 - ドキュメンテーション作成と保育カファリスを通した保育者の成長と保育者養成(イタリア、ニュージーランド)
 - 妊娠期からの切れ目のない子育てのリスク支援の国際比較研究(イタリア、フィンランドなど)

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】 ● 幼児教育学科卒業生によるピアサポートとしての子育て支援 ● 妊娠期からの切れ目のない子育て支援
【社会的活動】 ● 世界の保育者・保育研究者との交流 ● 福島県の保育者との対話と支援
● 現職保育者の研究会企画・運営 ● 障害児の発達相談・保育相談
● 保育者、子育て支援者対象の研修会講師 ● 乳幼児を持つ親を対象とした講演会講師

具体的な活動

- OMEP(世界幼児教育・保育機構) 日本委員会副会長
- NPO法人練馬春日町幼児教室(障害児親子通園施設) 心理相談員、運営委員
- 都道府県、市町村(さいたま市、戸田市、練馬区、板橋区、目黒区など) および保育団体の幼稚園教諭、保育所保育士研修会講師および障害児保育巡回相談員
- 訪問型子育て支援NPOトラスティー
- 幼稚園、子育て支援センター、保健所などでの保護者向け講演会講師



COC事業：プラスママの子育てサロン(学生スタッフも大型絵本の読み聞かせに挑戦)

か め ざ き み さ こ
亀崎 美沙子

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野 子育て支援



活動の概要

- 【担当科目】「保育相談支援」「家庭支援論」「保育原理」「保育内容総論」「保育内容環境」「保育内容総論」「保育実習指導I・II」「保育者論」
【研究内容】 ● 保育所保育士の行う保育の専門性を基盤とした子育て支援や地域子育て支援拠点に関する実践研究を行っている。

地域連携・社会貢献活動

- えひめこどもの城運営委員
- 松山子ども・子育て会議委員
- 全国保育士養成協議会専門委員

具体的な活動

- 子どもに関する施設運営・政策に関する各種委員会
- 保育士養成教育に関する調査研究
- 保育者を対象とした専門研修等、各種研修

か わ き た ま さ よ
川喜田 昌代

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 乳児保育、保育学、子育て支援



活動の概要

- 【担当科目】「乳児保育I・II」「保育実習総論I」「保育所保育実習I」「子育てと環境」「卒業研究」
【研究内容】 ● 保育園での保育士の協働について実態調査(特に未満児クラス)
● 保育園における食育(アレルギー食) について
● 児童館の役割について子どもや親、職員の実態調査
● 幼稚園・保育園における災害マニュアル作成に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 幼稚園の保護者対象の教育講演会講師
- 幼稚園における未就園児を持つ親子対象「ひよこの会」での子育て相談
- 東京都中央区児童館運営委員長(2014)
- 世界の保育者・保育研究者との交流、福島の保育者との対話と支援
- OMEP(世界幼児教育・保育機構) 日本委員会事務局次長
- NPO法人NCN(子育て、障害児ケア) 代表(理事長)

具体的な活動

- 子育てにおいてのよりよい環境とは何か、親と子ども、子どもの仲間関係(障害を持つ子も含む)、保育者と子どもの関係で必要な要素とは何かを考えています。
- NPO法人の活動を通して子育て中の親支援など実践活動を行い、保育者養成の面からも研究を続けていきます。

け ん み ん あ い
権 明愛

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 障害児保育、発達相談、発達障害、療育方法



活動の概要

- 【担当科目】「障碍児保育」「相談援助」「発達臨床論」「保育実習」
【研究内容】 ● 発達相談・検査を活用した気になる子どもの発達支援 ● 発達障害児者の認知特徴及び療育方法
● 障害児者施設における支援方法 ● 特別支援教育に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県内障害者支援施設の実践アドバイザーと研修講師
- 埼玉県内私立保育園の発達相談員
- 国立障害者リハビリテーションセンター主催の「海外発達障害支援制度情報交換会」の委員
- SGRA(関口グローバル研究会：日本で博士号を取得した知日派の多分野の学者による研究会) の運営委員

具体的な活動

- 発達が気になる子ども、集団保育・教育の環境の中で困っている子どもの発達相談、発達検査を通して現場の保育者・教育関係者及び保護者に具体的なかわり方を提言することを目的として、実践的研究を行っています。また、障害者支援施設の支援員を対象に障害者の理解及び支援方法についてアドバイザーとして一緒に検討しています。2016年から、新座市の保育所と幼稚園からモデル園を設置し、保育者育成に繋がる発達相談モデルの構築を目指す活動(COC事業)を展開しています。

す す き は る こ
鈴木 晴子

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 障害のある子どもの発達支援や育児相談、絵本の読みあいの醍醐味の紹介等



活動の概要

- 【担当科目】「子ども家庭福祉」「社会的養護内容」「相談援助」「施設実習」
【研究内容】 ● 臨床現場では、園での障害のある子どもの保育に関するアドバイスや発達評価を行って来ましたので、その経験を生かし、保育者の障害のある子どもとの向き合い方や専門性の向上に関する研究を行っています。長く続けている研究は、子どもと親との絵本の読みあいです。

地域連携・社会貢献活動

- 母子保健分野で行っている子育て支援事業に参画しています。子育てについて保護者の方と一緒に考え、喜びや難しさを分かち合う相談事業やあそびの教室の運営をライフワークにしています。絵本や子育て、気になる子どもに関する講演も行っています。また、保育所や幼稚園などで障害のある子どもの保育に関する助言も含め、保育実践における子ども理解や、保育の捉え方を保育者と共に検討することも続けています。

具体的な活動

- 千葉県内保健センターにおける心理発達相談員
(気になる子どもや養育フォローを要する親子を対象にした遊びの教室とその親の会の運営、発達相談、乳幼児健診での心理相談 等)
- 東京都・千葉県 幼稚園や保育所等における特別支援教育に関する助言
- 子育て支援センターでの保護者向け子育て講座 ● 児童養護施設等における研修講師

す す き ま さ こ
鈴木 雅子

人間生活学部 人間発達心理学科 講師

専門分野 学校保健、性教育、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ



活動の概要

- 【担当科目】「学校保健」「養護教諭実践論」「公衆衛生学」
【研究内容】 ● 学校保健から職域保健・地域保健の連携に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 平成30年度十文字学園女子大学公開講座コーディネーター
『「鍛えよう!子どもの心と体シリーズ」Part3 ～自閉スペクトラム症児のコミュニケーションー実証研究からみえてきた理解と支援ー』を2月に開催予定

具体的な活動

- 助産師・養護教諭としての経験を活かし、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを軸に生涯を通じた性教育の進め方に関心を持っています。

す す き や す ひ ろ

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野

スポーツ心理学、保育学



活動の概要

【担当科目】「幼児運動論」「保育内容の指導法(健康)」「体育基礎I(子どもと運動)」他
【研究内容】● 幼児期の運動能力の年次推移(全国調査) ● 幼児期の運動能力を育むための援助について
● 幼児期の運動遊び経験と心理的・社会的発達との関係について

地域連携・社会貢献活動

● 新座市子ども・子育て会議委員
● 三鷹市スポーツ推進審議会委員
● まいにちスクスク(NHKEテレ) 山根良顕のババ修業「子どもと遊ぶう」(2017年7月8日放送) 監修及び出演
● 町田市教育委員会「乳幼児の保護者向け家庭教育カアップ講座」講師
● 文京区幼稚園教育研究会講師 等



親子でベースボール体験！最後に参加者全員で記念撮影

具体的な活動

● 幼児の運動能力を育むための環境設定や援助、幼児期の運動遊び経験と心理的・社会的発達との関係を検討することを目的として、実践的研究を行っています。2017年度は、子ども元気プロジェクト(2016年度文部科学省知(地)の拠点補助事業)において、幼児を対象とした「親子でベースボール体験！」(埼玉西武ライオンズ、新座市との共催事業・写真)や桐華祭での「わくわくチャレンジ」などを展開しました。得られた研究成果を各種メディアや講演、園内研などを通して社会還元できるように努めています。

せ き ね さ や か

人間生活学部 幼児教育学科 有期助手

専門分野

発達心理学、保育学



活動の概要

【研究内容】● 乳児期における絵本読み場面の母子相互行為の検討
● 絵本読み場面における演说的読みと情緒的やりとりに関する研究



国際シンポジウムにて

な が た み す え

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野

発達心理学、教育心理学、保育



活動の概要

【担当科目】「児童学演習」「発達心理学」「児童学研究法」他
【研究内容】● 幼児期の認知発達 ● 保育と子どもの育ちの関係
● 幼小連携 ● メディアリテラシー ● 子育て支援 他

地域連携・社会貢献活動

【COC事業】
● 1年次児童学演習で新座市周辺の子育て関連施設と連携をとりながら、地域に根差した社会理解と保育者養成を目指しています。
【その他地域連携活動】
● 学内のプロジェクト研究として、キャンパス周辺の放課後学童保育室の抱える問題について取り組んでいます。

具体的な活動

【現在までの学外での活動】
● 新座市内の家庭保育室(無認可保育所)での発達相談・理事(保育担当) ● 幼稚園・保育所などでの子育てに関する講演講師
【最近出版した本・出演メディア等】
● 『母親になること』(共著 金子書房 2011年) ● 『発達過程に応じた保育』(共著 萌文書林 2012年)
● 『何をどう感じるか』『見え方のルール』(共著 保育出版 2015年)

3. 子ども学

ふ せ は る み

人間生活学部 人間発達心理学科 教授

専門分野

子どもの看護、子どもの保健



活動の概要

【担当科目】「家庭の応急手当」「小児保健看護学」「看護援助方法」他
【研究内容】● 多胎育児支援に関する研究
● 放課後児童クラブの子どもたちの安全安心と健全育成に関する研究
● 養護教諭の看護学に関する研究

地域連携・社会貢献活動

● 埼玉県放課後児童クラブ支援員研修会講師 ● 保健センター主催の多胎育児教室講師
● 保健師対象の多胎育児支援研修会講師 ● 子育て支援センタースタッフ研修会講師
● 乳幼児保護者対象の子どもの健康に関する講座の講師 等
【COC事業】
● 学童クラブでの安心安全の確保と健全な育成を図るための取り組みに関する研究(代表)

具体的な活動

● 自身も多胎児の母親であることから、専門性をいかして多胎育児支援に関する活動を行っている(NHK-Eテレ「すくすく子育て」双子の育児に出演)。また、乳幼児を中心とした子どもの事故防止や病気に対する看護など母親向けの講座も担当している。さらに、放課後児童クラブの支援者スキルアップの研修において、学童期の子どもの安全管理と事故防止、応急手当などに関する講座を担当している。

む か い み ほ

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野

子育て・子育て支援、臨床心理、発達臨床心理



活動の概要

【担当科目】「保育・教育相談」「発達臨床論」「保育所保育実習」他
【研究内容】● 親子関係の構築についての実践研究
● 「対話と傾聴」を基本とした子育て支援の有効性についてフィンランドにおけるネウボラの実践からの検討
● 地域の子育て支援と保育・教育との連携に関する検討
● 子育て支援及び保育の国際共同研究

地域連携・社会貢献活動

● 各自治体、幼稚園、保育所等主催の子育てに関する講演会講師
● 保健所等における親子の心理相談
● 保育所での巡回相談
● COC事業及び科研の成果等を国際シンポジウムを開催し、普及を行う
● 清瀬市子ども・子育て会議委員 新座市児童福祉審議会委員 他

具体的な活動

● 子どもが育つ為に必要な人との関係、主に親子関係を中心に研究を進めています。その上で、子育てを楽しめる社会となるには何が必要かを考え続けています。私自身が、その必要な要素を提供するための一員となれるよう実践及び研究そして教育の側面から、微力ではありますが継続的に活動を続けています。子どもそしてその育ちを支える人々の力になれる活動ができることを目指しています。

や ま だ よ う こ

学科長 / 人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野

保育学、障害児保育



活動の概要

【研究内容】● 障害のある子どももいない子どもも、一人一人が集団の中で明るく楽しく伸び伸びと生活しながら、その子らしく成長していくことを保障するために必要な、保育者側の共感的な理解と保育援助のあり方を学生とともに深く学び合う。
● 子ども達が日常的に遊んでいる、砂遊びやごっこ遊びや鬼ごっこ等に込められているそれぞれの遊びのおもしろさの中身や遊ぶ中で培われる子どもの発達について、学生が主体的に考え、知識を構築し、併せて子どもの発達を促すためにふさわしい援助の方法を身に付けることができるよう、グループワーク等を活用しながら学生とともに楽しく深く学び合う。

地域連携・社会貢献活動

● 地域の「子ども子育て会議」に委員として参加
● 保護者主催の「障害のある青年の部の集い」にスタッフとして参加

具体的な活動

● 地域の「子ども子育て会議」の委員として、平成27年度から5年間で第1期とする子ども子育て支援事業計画の策定と、その後の事業計画に基づいた様々な施策に関する進捗状況の確認や検討を行っている。
● 青年達と週に1回程度集まって、お料理・造形活動・音楽活動・散歩・外食などをして共に生活を楽しむ中で、青年達の生活がより豊かなものになるよう支援している。

22 N/AVI 十文字学園女子大学 教員ナビ Q

Jumonji University 23

よこい ひろこ

横井 紘子

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 保育、子ども、遊び



活動の概要

【担当科目】「保育内容の指導法(健康)」「保育内容の指導法(言葉)」「保育内容総論」「保育学」「幼稚園教育実習」他
【研究内容】●子どもの遊びや生活についての現象学的研究
●保幼小連携

地域連携・社会貢献活動

●平成25年度埼玉県国公立幼稚園教育研究会講演会 講師
「子どもの育ちを支える幼小連携を探る一何をどのように『つなぐ』のかー」

具体的な活動

●子どもの世界の奥深さを探るため、保育現場等でフィールドワークをしています。遊び、時間や空間、モノ、言葉、他者など、人間にとって身近なテーマから事例を考察し、子どもの生きている世界を描き出すことをめざしています。また、1歳と4歳の娘を子育て中で、娘たちからも様々なことを気づかされる日々です。子育てや保育のノウハウではなく、子どもの世界を豊かに感じる力の大切さを、私も子どもたちから学びながら発信していきたいです。

ろ しゃお ゆん

呂 小耘

人間生活学部 幼児教育学科 助教

専門分野 保育学、発達心理学、教育心理学



活動の概要

【研究内容】●保育園・幼稚園の5歳児クラスの集団の話し合い場面を長期的に観察することによって、幼児たちはどのように集団の話し合いに参加し、保育者たちはどのように支援しているかを検討しています。

4

福祉

いとう　よういち

伊藤　陽一

人間生活学部　人間福祉学科　准教授

専門分野　子ども家庭福祉、児童福祉施設の専門職の在り方、学童期の子育て・子育て支援



活動の概要

【担当科目】「児童・家庭福祉論」「社会的養護論」「障がい児保育」
【研究内容】● 児童福祉施設の専門職の養成及び育成の在り方の研究
● 児童虐待を受けた子どもに対する支援の研究

地域連携・社会貢献活動

- 新座市いじめ問題対策連絡協議会委員
- 朝霞市社会福祉認可等審査委員会委員
- 社会福祉法人ユウカリ福祉会 理事
- 社会福祉法人川崎愛児園 児童養護施設川崎愛児園評議員
- 神奈川県社会福祉事業団 児童養護施設すまいる第三者委員
- 特定非営利活動法人 風(子どもの健全育成) 理事

具体的な活動

- 大学の学部を卒業した後、子ども家庭福祉、保育の現場で専門職として働いておりました。知識理論と現場での実践が乖離しない授業を目指します。
- 乳児院・児童養護施設等における職員研修及び保護者支援講座講師
- 保育所・児童館・放課後児童クラブ等における職員研修及び保護者支援講座講師

おおた　まちこ

太田　眞智子

人間生活学部　人間福祉学科　准教授

専門分野　障がいのある人への支援、高齢の方への支援



活動の概要

【担当科目】「障害者福祉論」「就労支援サービス」「社会福祉の歴史」「障害の理解」他
【研究内容】● 障害のある当事者の思い　● 障害者虐待防止・専門職について
● 介護技術

地域連携・社会貢献活動

- 新座市障がい者施策委員会委員を務めています
- 介護職員初任者研修講師を務めています
- 新座地域の福祉事業所の方々と共に、研修会を継続的に開催しています

具体的な活動

- 障害のある方が暮らす施設での勤務経験を活かし、「当事者から学ぶ姿勢」を忘れずに歩むことをモットーとしています。障がいのある人、家族の声を聴き、福祉を学ぶ学生に伝えたいと考えています。

おおほら　なおみ

大洞　菜穂美

人間生活学部　人間福祉学科　有期助手

専門分野　地域福祉、高齢者福祉



活動の概要

【研究内容】● 社会福祉法人の地域に対する意識について
● 社会福祉法人の地域における公益的な取組について

地域連携・社会貢献活動

- 特別養護老人ホームで行われている高齢者サロンや多世代交流活動のボランティアをしています。

具体的な活動

- 施設や事業所と地域を結ぶ活動をしていきたいと思います。

おおやま　ひろゆき

大山　博幸

人間生活学部　人間福祉学科　准教授

専門分野　対人援助論、傾聴訓練と傾聴ボランティア活動の支援



活動の概要

【担当科目】「ソーシャルワーク論や相談援助演習」「ケア論」「教育原理」他
【研究内容】● 現場福祉職の自己省察による自己覚知獲得支援をテーマに、欧米の動向も含んだ自己覚知論の検討、自己覚知獲得を効果的に促進するワークシートやその手法の開発と評価を行っています。また、社会福祉士となるための実習教育の教材やその方法について開発、施行、研究を行っています。

地域連携・社会貢献活動

【COC事業】● 介護保険施設で認知症高齢者を対象に傾聴実践を行っています。また傾聴活動に参加する学生に対しては傾聴技術トレーニングという視点から、効果的な傾聴トレーニングの方法やその評価を行った研究を行っています。また新座市社会福祉協議会の主催で内の方を対象とした傾聴ボランティア養成講座を担当させていただきました。

具体的な活動

- 特別養護老人ホームそらーれ新座、にいざ生活支援センターでの傾聴ボランティア実践活動
- 新座社会福祉協議会主催傾聴ボランティア養成講座 講師
- ぐんま県認定介護福祉士養成研修において、講義名「自己覚知と他者理解ーソーシャルワークの理論と方法」の講師



かたいぎ　ひでと

片居木　英人

学科長／人間生活学部　人間福祉学科　教授

専門分野　福祉と人権、社会福祉法制、女性福祉



活動の概要

【担当科目】「くらしのなかの日本国憲法」「社会福祉概論I」「社会保障論I・II」他
【研究内容】● 売春防止法の現代的課題　● セクシュアル・ライツをめぐる問題状況
● 現代の社会保障・社会福祉をめぐる人権と法の総合的研究

地域連携・社会貢献活動

- 彩の国大学コンソーシアム公開講座講師
2016年度「尊厳的終命権を考える」
2017年度「障害者差別解消法を読む」
- 教員免許更新制免許状更新講習担当講師
2017年度「子どもの権利に関する基本的な考え方」

具体的な活動

【著書】「現代の社会福祉をめぐる人権と法」（単著　法律情報出版　2015年）
『改訂　日本国憲法へのとびら』（共著　法律情報出版　2016年）

さとう　あきら

佐藤　陽

教育担当副学長／人間生活学部　人間福祉学科　教授／次世代教育推進機構ボランティアセンター長

専門分野　地域福祉、福祉教育、ボランティア、ソーシャルワーク



活動の概要

【担当科目】「地域福祉論」「ボランティア・コーディネーション」「ソーシャルワーク論」
【研究内容】● 地域包括ケアに向けた高齢者が主体となる地域における学び合いや支え合いの場づくりに関する研究
● 地域共生社会の実現に向けた地域福祉における総合的な支援体制構築に関する研究
● 若者の福祉教育実践としての体験学習に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 日本福祉教育・ボランティア学習学会常任理事
- 埼玉県福祉でまちづくり研究会主宰
- 和光市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会委員長
- 和光市自立支援協議会会長
- 川越市障害者施策審議会会長
- 総務省関東管区行政評価局行政懇談会（社会福祉分野）委員 等
- 新座市や志木市等の福祉や介護施策に携わり、自治体の各種委員、自治体・社協・NPO等の研修や講座、事業に協力。ゼミでは赤い羽根街頭募金協力、地域の障害児者の余暇活動支援ボランティアを実施している。

具体的な活動

【共著】「就労支援で高齢者の社会的孤立を防ぐ」（共著　ミネルヴァ書房　2016年）
『新福祉教育実践ハンドブック』（共著　全国社会福祉協議会　2014年）　『地域福祉の理論と方法』（共著　みらい　2014年）等
● 行政・社協、地域住民向けの地域共生社会実現に向けた地域包括ケアや地域福祉の講演、ボランティア育成や支え合い講座、生活支援体制整備に向けた介護支援の場づくりに関する研修、孤立防止フォーラムの基調講演等・多様な社会福祉従事者と地域福祉活動実践者と現場で働く卒業生や在学が学び合い実践につなぐプラットフォーム「福祉でまちづくり研究会」を実施

しおたにえみ

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野

社会福祉、子ども家庭福祉、ソーシャルワーク、児童福祉施設における援助



活動の概要

【担当科目】「社会福祉」「社会的養護」「子ども家庭福祉II」「施設実習I」
【研究内容】●子ども、家庭福祉に関わるソーシャルワーク、相談援助の専門性
●社会的養護、乳児院、児童養護施設等の施設援助者の養成、育成 ●実習における実習受け入れ施設との連携のあり方

地域連携・社会貢献活動

●保育所、児童養護施設、障害児施設等、社会福祉施設で行われる援助が利用者の権利を守るものとなるよう、専門性の向上や、職員の育成のために貢献すべく、研修、調査研究を行っている。
●全国乳児福祉協議会 乳児院における小規模化の在り方検討委員会委員(2013年度) 乳児院の研修体系具体化にむけた検討委員(2015年～)
●第27回、第28回、第29回、第30回 社会福祉士国家試験 社会福祉士試験委員

具体的な活動

●研修、講習活動(社会福祉士実習演習担当教員講習会(日本社会福祉士養成校協会主催) 講師)
●認定社会福祉士認証・認定機構
・2014年度～2017年度 認定社会福祉士特別研修講師 ・認定社会福祉士制度 スーパーバイザー登録
●乳児院・児童養護施設、保育所における職員研修、スーパービジョン
●文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「チームケアによる乳幼児の保健福祉支援プログラム開発に関する研究」(2013～2015年度) 分担研究者

とみいともこ

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野

高齢者福祉、地域ケア



活動の概要

【担当科目】「高齢者に対する支援と介護保険制度I・II」「相談援助実習指導」「社会福祉実習」「卒業研究」
【研究内容】●要介護高齢者の地域生活継続に関する研究

地域連携・社会貢献活動

●認知症サポーター養成講座講師(H27年度養成講座2回、H28年度1回実施)
●新座市社会福祉協議会主催介護職員初任者研修講師
●新座市認知症総合事業検討委員会委員(H28年度、H29年度)
●NPO法人暮らしネットえん 理事
●社会福祉法人燈 評議員

具体的な活動

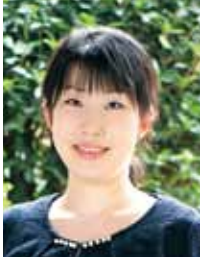
●高齢の方が安心して暮らし続けられる地域づくりと、地域の事業所の方々とつなぐ役割を果たしていきたいと思っています。

にへい

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野

高齢者福祉



活動の概要

【担当科目】「生活支援技術概論」「生活支援技術」「介護過程基礎」
【研究内容】●介護福祉士の専門性や介護福祉士養成教育のあり方に関する研究
●要介護高齢者に対する介護サービスに関する研究

地域連携・社会貢献活動

【地域連携】
●「ほっとカフェ@マーク十文字」プロジェクトメンバー(平成28年度～)
【社会貢献】
●厚生労働省 介護福祉士国家試験委員(平成29年度～)
●新座市社会福祉協議会主催 介護職員初任者研修講師(平成28年度～)

具体的な活動

●介護福祉士の専門性の向上・確立を目指して、介護の実践現場と連携を図りながら、介護福祉士の養成教育・介護サービスに関する調査研究を進めていきたいと考えています。

ふくだともお

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野

児童福祉、子育て支援、社会的養護



活動の概要

【担当科目】「ソーシャルワーク論I・II」「社会福祉施設経営論」「社会福祉概論」「保育実習・演習」
「社会福祉士実習・演習」他
【研究内容】●これまで、児童福祉、子育て支援、社会的養護に関する調査、研究を行ってきました。

地域連携・社会貢献活動

●埼玉県学童保育指導員認定研修会講師
●埼玉県母子相談員研修会講師 等

具体的な活動

●今後も、学童保育指導員の研修など地域に応じた活動に対する支援を続けたい。

みやうちとしひこ

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野

社会福祉学、介護福祉(理論・方法論・教育方法・制度)



活動の概要

【担当科目】「社会福祉概論II」 社会福祉関係法制度及び関係機関の役割について学ぶ。
「基礎介護論I・II」 介護の歴史、思想、理論について、介護福祉学の基礎を学ぶ。
「介護と倫理」 代表的な倫理学について、介護現場の事例をもとに理論と融合し学ぶ。

地域連携・社会貢献活動

●介護福祉士養成大学連絡協議会 会長 ●社会福祉法人 永寿会 理事
●公益社団法人 介護福祉士養成施設協会 学力評価委員会問題作成委員
●公益社団法人 介護福祉士養成施設協会 総務・企画委員会 委員
●公益社団法人日本介護福祉士会 埼玉県介護福祉士ファーストステップ講習会 講師
●公益社団法人日本介護福祉士会 埼玉県介護福祉士実習指導者講習会 講師
●東京都日野市介護保険運営協議会 委員 ●東京都日野市地域包括支援センター運営協議会 委員
●東京都日野市地域密着型サービス運営委員会 委員 ●東京都日野市在宅高齢者療養推進協議会 委員

具体的な活動

●介護福祉士養成大学連絡協議会では、「四年制介護福祉士養成大学の教育の強みはどこにあるのか、独自科目、独自の教育方法を可視化するデータを示す」ことをテーマに、全国の加盟大学の教員と研究を進めている。
●埼玉県介護福祉士実習指導者講習会では、介護現場で勤務する実習指導者への教育研修を実施。



やまぐちゆみ

人間生活学部 人間福祉学科 准教授

専門分野

介護福祉学、ケアマネジメント



活動の概要

【担当科目】「認知症の理解」「こころからだのしくみ」「医療を必要とする人への介護」
【研究内容】●認知症の人及び家族介護者へのケア
●利用者及び介護者双方にとって安全で安楽な介護技術

地域連携・社会貢献活動

●新座市介護保険事業計画推進委員会委員 ●介護職員初任者研修会講師
●新座地域の福祉事業所の方々と共に、研修会を継続的に開催
●平成29年度 地域志向教育研究を、志木市子育て支援ネットワークと行う。
●平成29年度 地域連携共同研究所研究として、「ほっとカフェ@十文字」開催。

具体的な活動

●今後も地域の方々や学生と協力し、地域の福祉的な課題を解決できるように取り組んでいきたいと考えています。



5 食・栄養

あり た あ ん な

有田 安那

人間生活学部 健康栄養学科 助手

専門分野 栄養学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学実験」「食品衛生学実験」「生化学実験」「食品学実験」

【研究内容】●亜鉛の生理機能の解析
●鉄吸収調節に関する研究

い け が わ し げ き

池川 繁樹

学科長／人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 運動生理学、バイオメカニクス



活動の概要

【担当科目】「運動生理学」「バイオメカニクス」「解剖生理学実験」

【研究内容】●身体組成 ●大学スポーツ選手の栄養サポート
●地域高齢者の健康問題 ●身体活動量の測定

地域連携・社会貢献活動

●CO新座市における高齢者の健康調査、体力測定

具体的な活動

- 大学準硬式野球選手、高校硬式野球選手、ウエイトリフティング選手、バスケットボール選手の栄養サポート
- 身体活動量の測定
- 地域高齢者の健康調査、体力測定

い で たかし

井手 隆

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 栄養化学、食品機能学、分子生物学



活動の概要

【担当科目】「食品衛生学」「人間生物化学」「食品衛生学実験」

【研究内容】●脂質代謝の改善は高脂血症とこれに起因する動脈硬化症および肥満などの生活習慣病の予防治療に有効である。私共は健康に寄与する食生活への指針の提示および新奇機能性食品の開発に資することを目的に、食品と食品成分が生体の脂質代謝に与える影響に関して、動物実験により解析を行っている。具体的には肝臓の脂肪酸代謝系（脂肪酸合成と脂肪酸酸化系）の酵素の活性と遺伝子発現の制御に関して詳細な解析を行っている。

地域連携・社会貢献活動

- 日本食物繊維研究会評議員
- 日本ポリフェノール学会評議員
- 食品新素材協議会学術委員
- 日本ゴマ科学会評議員
- 油脂・コレステロール研究会理事
- 株式会社TTCコンサルタント

いのうえ くみこ

井上 久美子

人間生活学部 食物栄養学科 准教授

専門分野 健康教育、栄養教育、食育



活動の概要

【担当科目】「栄養教育論Ⅰ・Ⅱ」「栄養教育論実習Ⅰ」「栄養教諭実践論Ⅰ・Ⅱ」「栄養教諭実習Ⅰ・Ⅱ」他
【研究内容】● ライフステージやライフスタイルに応じた、効果的な栄養教育・食育の検討

地域連携・社会貢献活動

- 地域連携研究所・COC事業「食育で育む管理栄養士の専門性」プロジェクトでは、
①幼稚園や小学校での食育活動 ②若い女性を対象とした和食講座や、市民まつりの運営補助など
- 幼稚園や小学校で、保護者や教職員を対象とした食に関わる講演など



やさいはかせになろう！“旬”ってな〜に？

具体的な活動

- 管理栄養士養成課程の卒業研究生と共に、
- 夏休み期間の3日ずつ、小学校や高齢者施設を訪問して、対象者参加型の調理実習を伴う食育活動である、“和食探検隊”を実施
 - 子どもの放課後居場所づくり事業「ココフレンド」における食育活動である、“やさいはかせになろう”を実施
 - 幼稚園を訪問し、“魚”や“野菜”、“行事食”など、幼児の年齢に適した食育を 2～3回ずつ実施

おりぐち

折口 いづみ

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 食品科学、栄養化学



活動の概要

【担当科目】「解剖生理学実験」等の助手
【研究内容】● 食品および食品成分による脂質代謝改善効果の実験動物を用いた検討



活動の概要

【担当科目】「食品学Ⅱ」「食品化学」「食品加工学実習」「食品化学実験」
【研究内容】● 各種食卵(5種：アヒルやダチョウなど)の消化性：食卵タンパク質の消化性を調べることで、生体内での栄養学的利用性やアレルギー性の強さが推察できる。鶏卵以外の食卵の消化性を鶏卵と比較、また消化性の高まる調理条件を調べている。
● 各種食卵(5種：アヒルやダチョウなど)の卵黄の科学と利用性：鶏卵以外の食卵卵黄の乳化性を鶏卵卵黄と比較。鳥種による乳化性の違いを利用した特徴あるマヨネーズの開発を目指している。

地域連携・社会貢献活動

- 平成23年度 新座市内大学公開講座
高齢期の心豊かな生活のために「楽しく食べて、いきいき健康」の担当助手



文化祭での食育実験の様子：人工いくら固まる原理を利用した「つかめる水」実験

具体的な活動

- 各種食卵の調理・加工特性に関する研究を継続して行い、それぞれの鳥卵の特徴を活かした商品開発を目指していきたい。

いわもと たまみ

岩本 珠美

人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 臨床栄養学、食生活学



活動の概要

【担当科目】「臨床栄養学Ⅲ」「臨床栄養学Ⅳ」「臨床栄養学実習Ⅱ」「臨床栄養臨地実習」他
【研究内容】● 動脈硬化予防のための食事療法に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 地域志向教育として、新座市保健センターと連携を取り、「健康まつり」への協力や地域の方への調理教室の補助などを実施している。また、地域で採れた食品の機能性の探索やレシピの開発を行っている。平成28・29年度は清瀬市健康推進計画の策定に委員として関わった。

具体的な活動

- 新座市保健センターとの連携においては、「健康まつり」の協力として、学生が作成した健康教育ポスターの提供を行った。健康講座で配布するレシピ・リーフレットの作成を行っている。
地域で採れた食品の機能性の探索やレシピの開発についても継続して実施する予定である。

おかもと せつこ

岡本 節子

人間生活学部 食物栄養学科 准教授

専門分野 調理学、食事計画論、応用健康科学



活動の概要

【担当科目】「食事計画論Ⅰ・Ⅱ」「調理学実習Ⅱ・Ⅳ」「給食運営臨地実習」
【研究内容】● 地域在住高齢者の生活機能低下予防に関する研究 ● 高齢者献立に関する研究
● ジュニアアスリートの栄養サポート

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
- 新座市NPO法人高齢者施設の食事サービスへの取り組み
 - 新座市地域住民全身持久力の測定と運動指導と食事指導
- 【その他】
- 志木市保健事業「減塩フェスタ」参加 ● 高校球児の栄養サポート
- 志木市保健事業「減塩フェスタ」 NPO法人高齢者施設の食事サービス

具体的な活動

- 【新座市NPO法人高齢者施設の食事サービスへの取り組み】
- グループホームとグループリビングに入所する高齢者の夕食献立の作成をゼミ生と共に、高齢者の健康を支え、行事食や美味しく食べやすい食事を提案し、施設への訪問活動を行っている。
 - 【新座市地域住民全身持久力の測定と運動指導と食事指導】 ● 十文字フットボールチーム選手を対象に食事調査を行い、食事のバランス、補食の摂り方等の支援を行っている。
- 【志木市保健事業「減塩フェスタ」参加】 ● 減塩食のレシピの考案、減塩食の試食を志木市の「減塩フェスタ」参加者に提供した。
- 【高校球児の栄養サポート】 ● 柏中央高校野球部員の栄養集団指導、食事調査等を行い高校球児の栄養サポートを行っている。

きむら やすこ

木村 靖子

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 調理科学、給食経営管理論



健康シニア教室でのミニ講義

活動の概要

【担当科目】「調理学・同実習」「食事計画論・同演習」「給食計画・実務論」「給食運営実習」他
【研究内容】①新食品素材（桜葉、藻類、粉末かんぴょう、発酵食品など）を利用した料理の嗜好性および調理特性 ②トマトの消費拡大を目的としたトマトレシピの検討 ③ヒトの食行動、食意識の家庭内での伝承 ④宇宙環境における食資源に関する研究 ⑤給食施設における米飯の品質管理に及ぼす変動要因の検討 ⑥女子大生の朝食欠食習慣に対する栄養教育の効果など

地域連携・社会貢献活動

- 平成27～29年度 地域連携共同研究所 プロジェクト研究「十文字学園女子大学シニア健康教室」において、参加者のシニア世代の皆さんに管理栄養士の立場から「食生活を考える」のミニ講義を行う。
- 平成27～29年度 地域連携共同研究所 COC地域志向教育研究「食で育む管理栄養士の専門性」において、「プロの調理人による和食文化セミナー」と「新座市親子DEミニウォーキング&スタンプラリー」の活動をアシストした学生の指導。
- 平成28、29年度 COC事業「サトイモの親芋活用プロジェクト」において、地域で廃棄されているサトイモの親芋を有効活用するための方策を検討。

具体的な活動

- 新座市内大学講座 講師(平成23年) テーマ：高齢期の心豊かな生活のために
- 埼玉県日高市保健相談センター主催 健康づくりボランティア活動のための研修会 講師(平成24～26年) テーマ：健康と葉酸、豆と健康、野菜の色と健康など
- 日本こんにゃく協会「ご当地こんにゃく新感覚レシピ」制作(平成27、28年) 地域連携・社会貢献活動のほかに料理レシピに関する指導および研究。
- 埼玉県産米を活用した料理レシピ開発の指導(平成28、29年度)、指導した学生のレシピが高校・大学の部で2年連続優秀賞を受賞
- JAあいちとのコラボ授業をととして学生に青果物の普及およびレシピ開発を指導(平成27年大葉、平成28年ふき、平成29年度冬瓜)

きんたか ゆり

金高 有里

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野

調理科学、妊娠期の栄養、子どもの食



活動の概要

【担当科目】「調理学」「調理学実習」「応用栄養学実習」「食と発達」他 【資格】管理栄養士

【研究内容】● 妊娠期の栄養が将来の生活習慣病に及ぼす影響について
● 発達の段階に適した食事(離乳期～学童期) に対する調理科学的検討
● 発達段階に合わせた食事と食教育について ● アレルギー対応菓子・非常食の開発
● 食における産学官共同事業について ● 肥満と摂食調節について

地域連携・社会貢献活動

【社会活動】 ● 日本栄養・食糧学会参与、日本栄養改善学会評議員、日本DOHaD学会広報、日本調理学会、日本先天異常学会、日本栄養士会、日本家政学会役員、栄養学若手研究者のつどい総務、など

【地域連携活動】 ● 新座市内カフェ・店舗とのメニュー・商品開発、イベント開催 ● 地域企業との連携による商品開発と熊本復興支援活動
● 新座市社会福祉協議会との連携「会食ふれあい事業」 ● 地域保育園との連携による食育活動 他

その他

- 新座市でまひまカフェとの連携により地域の親子を対象に絵本の読み聞かせと地域の食材を用いた調理実習のイベントを行った。
- JAあさか野、新座市役所、輪粉、こまめベーカリーと連携し、熊本と新座の食材を用いた商品開発を行った。熊本復興支援活動として売上を義援金とした。
- 新座市社会福祉協議会との連携事業 「会食ふれあい事業 調理ボランティアさんの調理教室」の講師を務めた。
- 西武所沢店とコラボし、レストランメニューの開発、提供をした。
- 新座市内の保育園で園児と食育活動を含めた調理実習を行った。



地域のカフェで行った親子対象イベントの様子

くりさき じゅんいち

栗崎 純一

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野

食品学、食品生化学、食品機能学、食品加工学



活動の概要

【担当科目】大学院：「食・健康と栄養の科学総合特講」「食科学特講」「食・健康と栄養の科学」「食科学概論」「食品学特論II」「総合演習」

学 部：「食品学I」「食品化学実験」「食品加工学」「食品加工学実習」「食物栄養学演習」「卒業研究」

【研究内容】● ダチョウ卵など各種鳥卵たんぱく質からの新たな有用機能の開発・利用
● 食物アレルギーのアレルゲン性低減化 ● ペプチドや乳酸菌を利用した機能性食品の開発
● 食物繊維摂取増加と環境負荷軽減をめざした、おから含有食品の開発・利用

地域連携・社会貢献活動

- 埼玉県食の安全県民会議委員 ● (公社) フードスペシャリスト協会専門委員 ● 日本食品免疫学会評議員
- 日本食品科学工学会 ● 日本栄養・食糧学会 ● 日本農芸化学会 ● 日本アレルギー学会等

具体的な活動

- 研究成果を地域や社会で生かせるよう、食品に関する基礎研究を進めている。また、これまで蓄積した研究成果の活用方策について、業界等各方面の専門家とも検討し、成果の普及をめざしている。



研究開発した食物繊維リッチヌードル、桐華祭2016、2017年

こながい

小長井 ちづる

人間生活学部 健康栄養学科 准教授

専門分野

食品生理学



活動の概要

【担当科目】「食品学I・II」「食品学実験」「食品加工学」「食品加工学実習」他

【研究内容】● 食品の味や香り、食品成分の摂取が脳の機能に与える影響に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 平成29年度地域連携共同研究所プロジェクト研究「十文字学園女子大学シニア健康教室」におけるミニ講義「食品の香りで脳を元気に!」
- 日本臨床神経生理学会代議員

具体的な活動

- 嗜好飲料の香りを中心に、食品のリラックス効果や脳機能の賦活効果について研究を行っている。「食」を通して人々の健康維持やアンチエイジング、生活の質の向上に貢献していきたいと考えている。

こばやし みちこ

小林 三智子

学科長／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野

味の感じ方、食品の物性



活動の概要

【担当科目】大学院：「調理学特論」 学 部：「応用栄養学」「応用栄養学実習」

【研究内容】● 若年女性の味覚感受性の心理物理学的研究 ● 味覚変容物質による味の変化
● 気分の変容による味の感じ方の違い ● ストレス負荷における味覚感受性と自律神経活動の変化
● 雑穀を添加したパンの力学的性質 ● 地場野菜を利用した商品開発など

地域連携・社会貢献活動

【社会貢献活動】 ● 日本官能評価学会理事、編集委員 ● 日本家政学会関東支部副支部長、代議員
● 新座市商工会観光新座地域振興事業委員会委員 ● 日本調理学会編集委員など

【地域連携活動】 ● 新座市民祭り、商工会との共同事業“すぐそこ新座”発見ウオーキング実施
● 新座市4Hクラブとの連携事業 ● 新座市社会福祉協議会との連携「会食ふれあい事業」
● 地域農家や企業と連携したドレッシングの開発、商品化



ゼミの学生が開発し商品化した「にんじん畑ドレッシング」です!

具体的な活動

- 新座市民祭りに12年連続参加し、商工会との共同事業“すぐそこ新座”発見ウオーキングにおいてゼミ生が作成したスイーツを提供した。
- 新座市社会福祉協議会との連携事業を8年連続で実施 「会食ふれあい事業 調理ボランティアさんの調理教室」をコーディネートした。
- JAあさか野、市役所、尾崎農園、丸越食品と連携し、にんじんドレッシングの開発を行い、商品化した。
- 西武所沢店とコラボし、レストランメニューの開発、提供をした。

ささき なほ

佐々木 菜穂

人間生活学部 健康栄養学科 講師

専門分野

栄養学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学」「基礎栄養学実験」「応用栄養学」「応用栄養学実習」「解剖生理学実験」「給食運営校外実習」他

【研究内容】● ハーブサプリメント成分の安全性評価に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 十文字学園女子大学シニア健康教室 ミニ講義「丈夫な骨を作ろう!骨活のススメ」(平成29年)
- 十文字学園女子大学シニア健康教室 ミニ講義「高齢期の栄養を考えよう」(平成28年)
- 埼玉県製菓衛生士試験委員(平成27-29年)
- 新座市内大学公開講座シニアのための調理教室 助手(平成24年)
- 新座市社会福祉協議会主催 会食ふれあい事業調理ボランティアさんのための調理教室 助手(平成21-22年)

具体的な活動

- 健康食品による健康被害を未然に防ぐための安全性評価方法を研究しています。人々が健康食品を安全に利用できるように、正しい情報提供を行いたいと考えています。

しむら ふみお

志村 二三夫

学長／大学院人間生活学研究科 教授／研究科長

専門分野

栄養学、生化学、解剖生理学、食品安全・保健学



活動の概要

【担当科目】大学院：「特別研究(博士論文指導)」 「栄養科学特論I」他

【研究内容】● 食品成分(植物の二次代謝物・亜鉛等)の安全性・有効性ならびに作用メカニズムについて、実験動物、培養細胞、酵素・機能タンパク質を対象に、遺伝子の発現(DNA→RNA→タンパク質) への作用を主な指標として解析する実験研究を実施。
● ハーブサプリメント・健康食品素材の安全性評価法の開発に関する実験研究、また同素材の安全性・有効性について、講演・執筆活動を通じて普及啓発。

地域連携・社会貢献活動

- 内閣府消費者委員会臨時委員(新開発食品調査部会委員・同第一調査会座長)
- 厚生労働省薬事・食品衛生審議会専門委員 ● 東京都食品安全情報評価委員会委員長
- NR・サプリメントアドバイザー認定機構教育・認定委員等 ● 日本栄養・食糧学会代議員 ● 日本栄養改善学会評議員
- 日本臨床栄養学会評議員 ● 日本栄養学教育学会評議員 ● 日本ポリフェノール学会理事等

具体的な活動

- 特定保健用食品の審査、新開発食品の安全性に関する厚生労働行政上の問題に関する検討・評価、東京都における食品安全上の諸問題についての情報収集ならびに都民(事業者を含む) への情報提供に関する検討評価、NR・サプリメントアドバイザーの養成教育・認定。

そ や ま り こ
曾矢 麻理子

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 食品、調理



活動の概要

- 【研究内容】●鳥卵タンパク質からの有用機能開発の研究
●地場野菜の有効活用の研究

地域連携・社会貢献活動

- 地域との連携活動を通し、地場野菜の加工食品開発に取り組んでいる。

具体的な活動

- 新産産の秋冬にんじんを活用したドレッシングを開発し「にんじん畑ドレッシング」という商品名で平成29年より販売に至った。

た け し ま し ん の す け
竹嶋 伸之輔

人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 畜産学、微生物学、動物遺伝学、分子生物学、免疫学



活動の概要

- 【担当科目】「解剖生理学」「解剖生理学実習」「病原物質・微生物学」「微生物学実習」「免疫学」
【研究内容】●疾患関連遺伝子の探索 ●経済形質と遺伝子の関連性
●ウシ主要組織適合抗原の遺伝子解析 ●遺伝子タイピング法の構築
●次世代シーケンサーを用いたウイルスゲノム解析

地域連携・社会貢献活動

- 農林水産省・動物用再生医療等製品の安全性試験等開発事業検討委員 ●日本獣医学会評議員
●日本主要組織適合性学会評議員

具体的な活動

- 免疫応答に重要な遺伝子とウシに感染しているウイルスとの関係性の研究
●病気に強い牛や、牛肉や牛乳のおいしさ、生産性にかかわる遺伝子の探索 ●研究成果の社会実装のための取り組み
●次世代シーケンサー等の最新技術を用いて、ウイルスのゲノム解析や検出を行う。
●最新の遺伝子検査技術を利用したウイルス清浄化対策の実施支援

た な か あ い
田中 藍

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 栄養学



活動の概要

- 【担当科目】「食品衛生学実験」他

た な か し げ る
田中 茂

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 働く人の安全と健康を守るための研究(労働衛生学)



活動の概要

- 【担当科目】「インダストリアルハイジーン論I・II」「公衆衛生学」「健康情報処理演習」
【研究内容】●化学物質の吸入曝露とけい皮吸収ばく露について研究を行っている。

地域連携・社会貢献活動

- 地域連携として埼玉県医師会(郡医師会を含む)および埼玉県産業保健総合支援センターの委員として、産業医、衛生管理者、化学物質管理者等を対象にした講習会の講師として参画している。

具体的な活動

- 厚生労働省：発がん性など有害性の高い化学物質をどのように安全に使用するかを決める委員
●農林水産省：農業従事者が農業散布のときのマスクを正しく装着する必要があるかラベルに記載する内容を定める委員

な が お あ き ひ こ
長尾 昭彦

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 食品生化学



活動の概要

- 【担当科目】「食品衛生学」「食品衛生学実験」「生化学」「生化学実験」「分子栄養学」「食品機能論」
【研究内容】●食品に含まれる機能性成分の評価と構造解析
●食品に含まれる栄養・機能性成分の生化学的特性と体内動態(吸収と代謝)

具体的な活動

- 地域農産物の栄養・機能性成分の分析

な が さ わ の ぶ え
長澤 伸江

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 公衆栄養(各ライフステージの方の健康と食生活、食育、健康増進、疾病予防)



活動の概要

- 【専門領域】●公衆栄養(高齢者の健康と食生活、若年女性の健康と食生活、食育)
【担当科目】「公衆栄養学」「公衆栄養学実習」
【研究内容】●地域在住高齢者の健康関連QOLに及ぼす食生活の影響
●超高齢社会における生活機能低下予防に関する研究
●若年女性の健康と食生活習慣との関連

地域連携・社会貢献活動

- 【地域行政への協力】新座市健康づくり協議会副会長、新座市食育ネットワーク委員会委員、新座市体育協会理事、東京都墨田区すみだ食育推進会議委員長、第10回食育推進全国大会inすみだ2015大会実行委員長、墨田区新たな食育推進計画策定委員(29年度～33年度)、29年度新座市民総合大学食育推進学科コーディネーター
【地域への研究成果還元】講演活動：企業社員▶「メタボリックシンドロームの改善のための食生活」、高齢者▶「生活習慣病にならないために～健康は栄養バランスのとれた食事から～」▶「冷えにくい身体を作ろう!食事で免疫力UP」、子育て世代▶「食の安全講座～バランスの良い食事を通してできる放射能対策～」、教育委員会▶「学校における食育の推進と食育リーダーの役割」▶「食育基本法と食をめぐる現状と課題」一般住民▶首都防災ウィーク講演会「食育推進ネットワークを活用した災害時の食支援」
【地域との連携】埼玉県「女性の健康週間」講演会開催、大塚製薬タイアップ企画、東京都豆腐商工組合豆腐フェア参加、第10回食育推進全国大会inすみだ2015開催、すみだ食育イベント展示参加

具体的な活動

- 【COC事業】●「食育で育む管理栄養士の専門性」プロジェクトでは、新座市保健センターと連携し、食物栄養学科の学生が食育啓発ポスターを製作し、保健センター・市役所に掲示。また、新座市民健康まつりに20名がボランティア参加。小中学生への食育啓発として、朝ごはんをしっかりと食べることを推奨するクリアファイルをデザインした。新座市健康まつりで骨密度測定コーナーを担当した。新座市食育講演会和食調理教室コーディネーター。



新座市民健康まつり骨密度測定



すみだ食育イベント2017
ポスター展示

なかじま まき
中島 万季

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 食品、調理



活動の概要

【担当科目】「健康情報処理実習」「食品加工学実習」等の助手

なかむら さだこ
中村 禎子

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 准教授

専門分野 保健栄養学、プレバイオティクス、難消化吸収性糖質の生理作用と代謝



活動の概要

【担当科目】「臨地実習とその事前事後指導」「食物栄養学概論」「栄養化学」「食品機能論」「卒業研究」他
【研究内容】●食物繊維や難消化性オリゴ糖などの難消化吸収性糖質は、腸内細菌を介して代謝される。この過程で産生する腸内細菌由来代謝産物を介した生理作用と疾病との関連性を明らかにする。また、新規に開発された難消化性糖質の安全性ならびに生体における消化・吸収、発酵・吸収および代謝のメカニズムを明らかにする。

地域連携・社会貢献活動

- 日本食物繊維学会 常務理事、編集委員
- 日本栄養・食糧学会 参与
- 日本栄養改善学会 評議員
- 牛乳乳製品健康科学会議 委員

具体的な活動

【社会活動】
●講演テーマ「腸内細菌と健康とのかかわり」、「プレバイオティクス、プロバイオティクスと健康とのかかわり」、「炭水化物の摂取と健康とのかかわり」など。
●牛乳・乳製品の栄養学的意義を明らかにし、普及活動を行う。
【産学連携共同研究】
●糖質の生理作用ならびに生体利用性に関する共同研究

なぐら ひでこ
名倉 秀子

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 給食の品質管理、調理科学、食文化



活動の概要

【担当科目】大学院:「調理科学特論」 学 部:「給食経営管理論」「給食経営管理論実習」
【研究内容】●学校給食における栄養・食事管理がどのように実施されて、子どもたちに届けられているのか興味があります。給食を提供量と栄養量で示すとともに、小学校1年～6年まで身体状況に合わせた給食をどのように計画的に調理・配食しているかを明らかにしています。また、給食を調理する時は、大型機器類を使いますが、それらの調理機器によりできあがる料理の品質が家庭料理とどのように異なるかを比較しながら、嗜好性の高い給食のための標準化を行っています。

地域連携・社会貢献活動

【地域連携】●埼玉県で生産される米「彩のぎずな」を利用した簡単・手軽・短時間の料理を提案しています。
●秩父地方の郷土料理の伝承のために、料理の再現に向けたレシピを作成しています。

【社会貢献活動】●公立の学校給食運営に関わる委員およびアドバイザー
●厚生労働省 管理栄養士国家試験委員 など

の だ し お り
野田 詩織

人間生活学部 健康栄養学科 有期助手

専門分野 調理学、栄養学



活動の概要

【担当科目】「調理学実習」等の授業の助手を担当

地域連携・社会貢献活動

- 一般財団法人日本こんにやく協会：こんにやくを使った新感覚レシピ作成の協力（都道府県の郷土料理：青森・福井・神奈川・京都）（2015年8月）
- 一般財団法人日本こんにやく協会：“こんにやく”カラダすっきり&おいしいレシピ作成の協力（2016年8月）
- 地域連携共同研究所・COC事業：東京會館和食総料理長、鈴木直登氏による新座市食育講演会 助手（2016年9月）
- 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催【埼玉県産米を活用したオリジナルレシピ2016】の学生指導・レシピの開発に携わり、優秀賞を受賞（2017年2月）

はやし あ や こ
林 綾子

人間生活学部 健康栄養学科 助手

専門分野 調理科学、給食経営管理



活動の概要

【担当科目】健康栄養学科開講「基礎調理学実習I・II」「解剖生理学実験」「食品学実験」「食事計画論・食事計画論演習」「応用栄養学実習」「栄養指導論実習I・II」「給食運営実習」「臨床栄養学実習」「公衆栄養学実習」等の実験実習の授業の助手を担当
【研究内容】●次世代に伝えたい地域の料理に関する研究
●調理学実習および給食経営管理論実習における学生教育向上に関わる研究にも携わる。

地域連携・社会貢献活動

- 米粉を使った食品の開発：「にっぽん秋の大収穫祭 新宿ビアスタジオ」イベントにてメニューの提供を協力（2013年8月）
- 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催 「県産米を活用したオリジナルレシピ 2014」にて学生指導、レシピ開発をし、優秀賞を受賞（2015年2月）
- 財団法人日本こんにやく協会、「こんにやくを使った新感覚レシピ」制作協力（都道府県の郷土料理：青森・福井・神奈川・京都）（2015年8月）
- 「県産米を活用したオリジナルレシピ2015」にて埼玉のお米を使った”お弁当レシピ”の学生指導、レシピ開発をし、2年連続で優秀賞を受賞（2016年2月）

具体的な活動

- 今後は、高校生対象の運動部生徒の栄養指導をしていく予定。

ほ り い た か こ
堀井 貴子

人間生活学部 食物栄養学科 有期助手

専門分野 調理科学



活動の概要

【担当科目】「調理学実習」「食品加工学実習」「給食経営管理論実習」の助手
【研究内容】●主食へのおからの有効利用に関する調理科学的研究
●市販だしの素・つゆの成分および嗜好性に関する研究
●料理において実際に喫食される食塩量に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- 平成28年度 埼玉県教育委員会主催 第2回高等学校調理講習会 助手
- 平成29年度 新座市社会福祉協議会主催 第1回「調理ボランティアさんの調理教室」 助手

具体的な活動

- おからを利用した主食のレシピ開発を目指している。

5. 食・栄養

やまざき ゆうこ

山崎 優子

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野 栄養学



活動の概要

【担当科目】「基礎栄養学」「基礎栄養学実験」「人間生物化学実験」等

【研究内容】「健康食品の安全性・有効性に関する研究」

- Cytochrome P450遺伝子発現を指標とする動物試験によるハーブサプリメントの安全性試験評価法の提案を検討している。
- カバの主要成分カバラクトン(デスメトキシヤンゴニン)の肝毒性に関わる有害作用メカニズムの解明に向けた研究に取り組んでいる。

地域連携・社会貢献活動

【社会貢献活動】

- 食物繊維学会評議員

具体的な活動

- 健康食品を安全・安心に利用するための一助として、ハーブサプリメントの安全性試験の評価法の確立を目指している。

やまもと しげる

山本 茂

大学院人間生活学研究科／人間生活学部 食物栄養学科 教授

専門分野 国際栄養学



活動の概要

【担当科目】大学院：「国際栄養学」他

学 部：「人間栄養学概論」「食文化論」「栄養学英語」

【研究内容】●東南アジアの生活習慣病の食事による予防・治療

- 日本・東南アジアの学校給食に関する研究

地域連携・社会貢献活動

- ベトナム、インドネシアの食事改善による生活習慣病の予防に関する研究
- 東南アジアの学校給食改善に関する研究
- 東南アジアの糖類成分表の作成と糖類摂取量の研究
- ベトナム栄養摂取基準作成アドバイザー
- タイ栄養士会名誉会員
- ベトナム栄養学会名誉会員
- ハノイ医科大学名誉教授
- 日本学校給食研究協議会理事
- 大豆たん白質研究会理事

具体的な活動

- ハノイ医科大学に4年前に同国初の栄養学課程を立ち上げ、日本の栄養学を全面的に輸出。また同大学からの学生、教員などを招聘し、栄養学教育について指導。
- 日本、台湾、東南アジア諸国の糖類成分表を作成し、各国の子供の糖類摂取量を測定。
- 東南アジアにおける野菜摂取量の増加方法の検討およびそれによる生活習慣病予防・治療方法を検討。
- ベトナムにおいて発芽玄米を製造し糖尿病の予防を国家プロジェクトになるべく取り組んでいる。

わだ やすよ

和田 安代

人間生活学部 食物栄養学科 講師

専門分野 臨床栄養学



活動の概要

【担当科目】「臨床栄養学I・II」「臨床栄養学実習I」「臨床栄養臨地実習I・II」「総合演習」「食物栄養学演習」「卒業研究」

【研究内容】●消化器疾患および代謝疾患における栄養管理と病態解明

- 炎症性腸疾患における病態解明と新規治療法の解明
- 子宮体がん患者における化学療法完遂に影響を与える因子の検討
- ALアミロイドーシス患者におけるepigallocatechin gallateの有効性と治療効果の検討
- ALアミロイドーシス患者における食生活に関する検討
- 小児1型糖尿病患者における食生活の現状と栄養教育に関する検討
- アレルギー患者を対象とした治療食の開発と栄養管理の検討
- 炎症性腸疾患患者を対象とした治療食の開発
- 糖尿病患者を対象とした治療食の開発
- 予防医療および予防介護を目的とした料理教室の実態調査と実施効果に関する検討

【学内業務】●十文字学園女子大学管理栄養士国家試験対策委員会委員長

【学内表彰】●第51回 桐華祭桐華賞文化展部門第1位(臨床栄養学研究室)

地域連携・社会貢献活動

- 複数の地域病院との共同研究を実施
- 小児1型糖尿病サマーキャンプの運営スタッフ
- 地域住民を対象とした予防医療と予防介護を目的とした料理教室の運営
- COC事業参画

具体的な活動

- 地域の病院と共同研究を行い、研究成果を論文や学会で多数発表している。



第51回 桐華祭桐華賞文化展部門第1位受賞

6

経済学・経営学

あべふみ

阿部 史

人間生活学部 生活情報学科 准教授

専門分野 民法、ビジネスと法律、消費者法



活動の概要

【担当科目】「生活と民法(民法入門)」「消費生活と法律」「ビジネスと法律」「不動産と相続」「家庭と法」
【研究内容】●担保・保証を中心とした民法の金融法が主な研究テーマ
消費者法的な観点、英米法からの比較、法の交錯分野などに興味をもつ

具体的な活動

●大学のゼミ活動では、学内での座学のみならず、さいたま地方裁判所や東京地方裁判所等で裁判傍聴を行ったり、東京証券取引所の見学・講座・株式取引シミュレーションなどを通じて社会の現場から学ぶ機会を設けている。

かとうよしひろ

加藤 順弘

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 簿記論、財務会計論、租税法、国際税務戦略論



活動の概要

【担当科目】「簿記入門」「会計学入門」「簿記基礎」「簿記基礎演習」「簿記応用」「財務会計論」「BATIC」「暮らしの税金」
【研究内容】●グループ企業再編と連結納税に関する研究
●小規模宅地等課税価格の計算特例に関する研究
●組織再編税制における包括否認規定の範囲・適用に関する研究

地域連携・社会貢献活動

●税に関する公開基礎講座
●学生対象の日商簿記検定試験受験応援
●東京税理士会における一般納税者税務相談応援

具体的な活動

●ゼミ活動では通常の演習の他、就職のための日商簿記検定試験や税理士試験等の資格取得応援や上級生・先輩による就活対策講座、卒業研究のためのフィールドトリップ等も行っている。

かわぐちひでとし

川口 英俊

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野 政治学、日本政治論、比較政治論



活動の概要

【担当科目】「生活と政治行政/ネットと世論」「インターネット社会論」「くらしのなかの日本国憲法」「クリエイティブライティングII」「入門ゼミナール」
【研究内容】●ヨーロッパにおける国民投票
●インターネットと公職選挙法
●18歳選挙権

地域連携・社会貢献活動

●十文字学園女子大学・18歳選挙権ワーキンググループ取りまとめとして会合・研究会により学長への報告書をまとめる。大学に総合科目18歳選挙権研究を新設し、埼玉県・新座市の選挙管理委員会、文部科学省からの大学への18歳選挙権取り組み要請に応える形で授業内で埼玉県選挙管理委員会の方をお招きし、出前講座を実施。18歳選挙権、選挙の意義、模擬投票を行いながら十文字学園女子大学学生に投票を呼びかけるコンテンツを作成した。

こみえまさひこ

込江 雅彦

人間生活学部 生活情報学科 准教授

専門分野 金融規制、バブル崩壊後の経済政策



活動の概要

【担当科目】「生活と産業」…日本経済が抱える問題を現代史を振り返りながら、講義している。その中で、新座市で活動している方々に授業で講義していただいている。「インターネットビジネス」…ネットが色々な形でビジネスに係っている現状を講義し、今後の行方を学生に考えさせている。
【研究内容】●バブル崩壊後の経済政策を日本、アメリカ、EUと比較しながら、金融規制の在り方や金融政策について研究している。

地域連携・社会貢献活動

●「生活と産業」という授業の中で、新座市商工会の事務局長を招いて授業を行うなど、地域と経済との関係について授業で取り上げている。また、山梨県職員研修所での講義を行い、地域で活動する職員の教育にも参加した。

具体的な活動

●今後、授業では様々な活動をしている方々を招きながら、日本経済が抱えている問題を地域から研究、教育を助めていくことを考えている。

なかやましげお

中山 成夫

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 企業論



活動の概要

【研究内容】●企業論、企業経営を担当していますが、企業にAIが活用される中で、企業経営にAIが与える影響を勉強しています。

地域連携・社会貢献活動

●企業の一線で活躍する女性管理職の方々に現代の女性の働き方についてお話を伺っていますが、これを地域公開講座に結び付けようと考えています。

ふじもとまさのり

藤本 正徳

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 経営学



活動の概要

【担当科目】「ビジネス入門」「企業倫理」「起業論」「卒業研究」「読書入門」
【研究内容】●変化の激しいグローバル社会における企業の付加価値創造活動と経営戦略の事例研究

地域連携・社会貢献活動

●社会人の学びのプラットフォームのストリート・アカデミー(株)の講師(ワイン入門)及び他講座の受講生としての参加等を通じ、若手・中堅社会人との交流を行っている。

具体的な活動

●ゼミ活動では、産業や企業を訪問し企業人と討議するフィールドトリップを通じて、ビジネス社会の動きや実際の仕組みや行動様式・考え方などへの理解を深め、学生の自ら学ぶ意識の醸成と進路検討にも役立てている。

フィールドトリップの様子▶



モーターメーカー訪問
(2017年6月)

食品包装メーカー訪問(2017年10月25日)

まつもと あきこ

松本 晃子

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 マーケティング、生活経済、商品開発



活動の概要

【担当科目】「マーケティング」「生活経済論」「ブランド論」「ファッションビジネス」
【研究内容】● 消費者が意識する豊かさの変化についての心理的側面から検証・分析。消費指数としての日経CFI指数の新構築。
● 繊維産業の構造と品質管理……繊維産業に勤務した経験から、ファッション産業の商品開発における問題を、マーケティングと品質管理の両面からアプローチしている。
【専門領域】● 生活経済 ● 消費者行動 ● マーケティング

地域連携・社会貢献活動

● 平成20年度関東経済産業局受託事業 「地域連携資源活用調査・研究事業調査」
● 山梨県立大学地域交流センター 地域資源を活かしたビジネス展開プロジェクト

7

社会学

7. 社会学

おおとも ゆ き こ
大友 由紀子

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 家族社会学、農村社会学



活動の概要

- 【担当科目】「ライフコースと生活設計」「ライフスタイル論」「マーケティングリサーチ」「生活と情報」「調査と統計」
- 【研究内容】● 2016-2018年度科学研究費助成事業（基盤研究C）研究課題名「農村女性のキャリア形成にみる世代変化―直系制家族50年の反復調査より―」研究代表
- 2012-2015年度科学研究費助成事業（基盤研究B）研究課題名「女性のキャリア形成からみる農場経営参画を可能にする要因の解明」研究代表

地域連携・社会貢献活動

- 十文字学園女子大学国際シンポジウム「食と農を担う女性たち」（2014年7月）主宰
- 座談会「ぶどうとワインのふるさと・果樹農家の持続と発展、夢を語る会」（2017年1月）を甲州市産業振興課と共催
- 十文字学園女子大学公開講座「オーストリアのワイン文化と地域づくり―家族農業における女性の経営参画―」（2017年10月）
- 山梨県中北地区管内女性農業者交流会にて講演「南部ドイツ語圏における女性農業者の職業教育・訓練」（2018年3月）

具体的な活動

- 2007年度にウィーン・ボーデンクルトゥア大学持続的経済発展研究所に客員研究員として滞在し、家族農業の世代継承とジェンダーの研究に着手。男子優先の伝統を持つ家族農業において女性の経営参画が進む南部ドイツ語圏で女性農業経営主、農村家政マイスター等へのインタビューを重ねる。国内では、1966年からの長期反復調査「家族変動・勝沼調査」の対象約100世帯を再訪し、農村直系制家族の変動と女性のキャリア形成にみる世代変化を分析している。

た ぶ さ け い こ
田総 恵子

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 政治学、国際関係論、政治とメディア



活動の概要

- 【担当科目】「政治とメディア」「市民メディア」「異文化コミュニケーション」「翻訳文化論」
- 【研究内容】● 民主主義制度の特徴と問題点
- 民主主義におけるメディアの役割など

具体的な活動

- 政治経済思想分野の文献の翻訳
- 訳書『ハイエク政治学論集』『フリードリヒ・ハイエク』『自由と市場の経済学』『賢い組織は「みんな」で決める』『シンプルな政府』

み や き み ち こ
宮城 道子

人間生活学部 人間福祉学科 教授

専門分野 男女共同参画、コミュニティ、農村生活、女性起業



活動の概要

- 【担当科目】「現代社会と福祉」「社会調査の基礎」「社会学理論と社会システム」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉実習および実習指導」「総合科目（毎日新聞）」
- 【研究内容】● 農村女性の起業がテーマです。福祉専門職をめざす学生には、女性や弱者の立場から社会をみる問題意識と想像力を持ってもらいたいと思っています。福祉を専門的に学ばない学生にも、現代社会の大きな課題としての福祉を理解するために役立つ学びをぜひ獲得してほしいと思っています。

地域連携・社会貢献活動

- 担当科目の中では、新座市のアトム通貨や有償ボランティア制度の背景や、コミュニティを見る視点を講義しています。行政の委員会や審議会に参加した経験を活かして、住民参加やNPOの活動を紹介するようにしています。

具体的な活動

- 女性の活躍は、雇用分野ばかりではありません。経営参画や起業する女性たち、ボランティアやNPO活動をマネジメントする女性たち、コミュニティパワーを創り出す女性たち、多彩な女性たちのフィールド（とくに食や農に関する現場）を訪問し、若い女性たちにつなげる活動をしたいと思っています。

8

メディア・情報・自然科学

いし の えい い ち

石野 榮一

学科長 / 人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 新聞、地域メディア、NIE(教育に新聞を)

活動の概要

【担当科目】「情報倫理と法」「地域メディア論」「新聞・雑誌・ミニコミ編集」「広報論」「インタビュー手法」「メディア産業論」「新聞ジャーナリズム論」

【研究内容】● 新聞を中心にした活字メディア
● 地域におけるメディアの役割、将来像 ● 情報リテラシーの養成 ● NIEの実践と研究・普及

地域連携・社会貢献活動

● 地域学習テキスト『いいね!にいざ』の制作メンバーとして、本学学生とともに地域を取材し、同テキストの執筆編集発行に当たる
● 新座市情報公開・個人情報審議会委員 ● 新座市立陣屋小学校学校評議委員
● さいたま市南区・桜区での選挙セミナー講師など 農林水産省関東農政局主催のパネルディスカッション▶

具体的な活動

● 授業やゼミで新聞を積極的に活用しメディアリテラシーの養成を進めたほか、地域メディアの役割を学ぶため学生を積極的に地域とかかわらせた
● 埼玉県内のコミュニティ FM、インターネット新聞を研究対象に設定
● 子どもたちに新聞に親しむ機会を作るため夏休みにNIE実践講座を開設した
● 18歳選挙権施行を受け、学生向けの授業を担当したほか、小学生対象の模擬投票の実施、自治体での選挙セミナー講師を務めた

いずみ な お こ

泉 直子

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 ソフトウェア工学、データベース、検証

活動の概要

【担当科目】「データベース入門・基礎」「ビジネスデータ活用基礎・応用」

【研究内容】● 情報機器の使用実態と生活への影響についての研究
● デジタル時代の若者のコミュニティ作りについて

地域連携・社会貢献活動

● 2005-2014 東京工業大学 特別研究員
● 2012-2014 埼玉県主催のふるさと支援隊において高齢者から昔話を聞き取り、それを基に絵本を作成し限界集落の高齢者の活性化の手伝いをしている。
● 2015 学生と共に地元、大和田地区の歴史、特に農業の歴史とコミュニティ作りの話など聞く機会があり、この地区は昔からの文化を形を変えて残すことができていること、若者のコミュニティ作りがうまくいっている話を聞き交流を図った。

具体的な活動

● 今後行いたいことは二つ。一つは若者のコミュニティー作りについて、特にデジタル社会の若者コミュニティーについて学生とともに考えていきたい。もう一つは新座地区の昔話に興味がある。

お の ゆう じ ろ う

小野 裕次郎

副学長 / 人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 データの分析、データから法則性や規則性等の知識を取り出す

活動の概要

【担当科目】「プログラミング基礎」「プログラミング応用」「オブジェクト指向プログラミング」「パソコン活用」

【研究内容】● 数値データや数値で表せない質的データ等を合わせて解析し、知識を抽出する。

地域連携・社会貢献活動

● 高校に行き、高校生が興味を持てる内容で情報教育の授業を行っている。

講義内容

● 「結婚報道新聞を作ってみよう」：ワードの機能を使い画像、文章、イラスト等を組み合わせスポーツ新聞風の結婚報道新聞を作成する。
「Scratchを使ったゲーム作成」：Scratchを使ったゲーム作成を通してプログラムとはどのようなものなのかを理解する。ScratchはアメリカのMITメディアラボが開発したプログラミング環境で、命令ブロックの配置によりプログラムを作成することができる。このゲーム作成により、プログラミングを体験する。

か と う りょう す け

加藤 亮介

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 講師

専門分野 教育工学、教育方法学

活動の概要

【研究内容】CG、ウェブ、映像等のメディア・コンテンツ制作系の授業を担当している。
● 映像制作等のクリエイティブワークを通じたプロジェクト・ベース学習(PBL)についての研究
● VR(バーチャルリアリティ)等のテクノロジーを活用した教材開発研究

具体的な活動

● 近年は、大学におけるオフィシャル広報番組の定期放送や、埼玉県の企業PR映像の制作などに力を注ぎ、地域連携制作活動の中での学生の意識変容や社会人基礎力の伸長に注目している。

番組制作ゼミの様子



き た は ら しゅん い ち

北原 俊一

情報センター / 人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 教授

専門分野 コンピュータ、物理学、計算機実験

活動の概要

【担当科目】「情報処理演習I・II」「宇宙とものなりたち」「Webデザイン論」

【研究内容】● 運動の計算機シミュレーション ● 宇宙初期の物質のようす

地域連携・社会貢献活動

● 新座市自治憲章条例検討委員

具体的な活動

● コンピュータ・ネットワークの一層の利活用を進めたい。

く り は ら た か し

栗原 隆史

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 地理情報システム(GIS)、地域分析、情報処理教育

活動の概要

【担当科目】「ハードウェア基礎」「パソコン活用」「コンピュータグラフィックス」「3DCG」「IT活用」
「サーバーサイドプログラミング」「システム開発技法」

【研究内容】● GISを活用した教育機関通学勢力圏モデルに関する研究

地域連携・社会貢献活動

● 日本高等教育評価機構評価委員

さいとう れいこ

齋藤 麗子

健康管理センター長 ／ 教授 ／ 産業医

専門分野 健康管理、小児保健、喫煙対策、健康教育



活動の概要

【担当科目】●「女性と健康」大人の女性になるためには知っておいてほしい健康情報をオムニバス形式で、医師、栄養士、保健師のそれぞれの立場から授業に取り組んでいる。喫煙や飲酒による本人や次世代への影響、おしゅれによる健康被害、食中毒の予防、食ベるといふことを考え、栄養素について知り、女性ホルモンによる体のリズム、妊娠や避妊について正しく知ることなど、楽しく学習する。

●健康管理センターの健康教育として乳がん自己触診講習会を随時開催し、乳房モデルを使い実習の実践。

地域連携・社会貢献活動

●全国各地の保健部門、教育委員会、母子保健課、地区医師会、女性団体などの依頼にて受動喫煙の健康影響や子供の喫煙防止、スモークフリー社会の形成などの講演活動を行っている。



小児科合同委員会作成の児童公園禁煙ポスターを全国に広めている

具体的な活動

●小児科関連学会4者協子どもをタバコの害から守る合同委員会委員として全国の児童公園の灰皿等の調査を実施し禁煙化を進めている。小児科医療機関の敷地内禁煙の調査を実施中。厚生労働省健康局がん対策・健康増進課タバコの健康影響評価委員会委員として子どものタバコ誤飲実防止の提言。日本禁煙推進医師歯科医師連盟会長、小児禁煙研究会理事として受動喫煙防止法の制定にむけた啓発を行っている。法務省入国管理局視察委員会委員

しんぎょうち こうじ

新行内 康慈

学科長 ／ 人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 経営工学、信頼性工学



活動の概要

【担当科目】「情報基礎」「ソフトウェア概論」「アルゴリズムとデータ構造」「問題解決手法」「文書作成入門」「データ処理入門」他

【研究内容】●ネットワークシステムの性能評価

●ソフトコンピューティング等を活用した最適設計

地域連携・社会貢献活動

●ISO／TC69(統計的方法の適用) ／ SC6(測定方法及び測定結果) 国内委員

具体的な活動

●各種国際規格のベースとなる、データの取り扱いや統計処理に関するISO規格の原案作成や審議、JIS化の検討などを行う。

たくら あきら

田倉 昭

人間生活学部 生活情報学科 教授

専門分野 ネットワーク、通信、セキュリティ



活動の概要

【担当科目】「インターネット」「データ処理入門」「ネットワーク基礎」「ネットワーク設定」「Webページとスクリプト」「インターネットとセキュリティ」「サーバ設定」

【研究内容】●通信プログラム開発に関して研究を行っている。

地域連携・社会貢献活動

●全国大学実務教育協会「資格教育課程審査常任委員会常任委員」

つのだ しんじ

角田 真二

地域連携共同研究所 ／ 情報センター 教授

専門分野 ユニバーサルデザイン



活動の概要

【担当科目】「ユニバーサルデザイン」「情報処理演習」

【研究内容】●ユニバーサルデザインの認知過程研究

地域連携・社会貢献活動

●新座市民、高齢女性と共同で、高齢女性のコンピュータボランティア養成講座を、15年以上継続開催している。多い年には、2種類のクラスを各々2回、合計月4回開催するなどしてきた。

具体的な活動

●高齢女性のコンピュータボランティア養成講座

●認知症予防ファシリテータ養成講座等実施

9

文化・文学

あ か ま え つ こ
赤間 恵都子

学科長／人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 平安時代の文化と文学



活動の概要

- 【担当科目】「日本文学概論」「日本文学史A(古代)」「日本文学の名作」他
 【研究内容】●『枕草子』を中心とする平安女流文学の研究
 ●平安文学に描かれる自然や文化の研究
 ●古典文学を漫画等の現代メディアを介して普及させる活動

地域連携・社会貢献活動

- 放送大学公開講座にて講演(2017年3月)
- いろは大学志木にて講演(2017年7月)
- 堀辰雄文学記念館にて講演(2017年10月)
- 朝日小学生新聞掲載『枕草子』の記事監修(2018年4月～)
- コミックエッセイ、古典漫画の監修
- 放送大学埼玉学習センターにて面接授業を担当(2016年、17年12月)

具体的な活動

- 【著書】『枕草子日記的章段の研究』（2009年 三省堂）、『歴史読み枕草子—清少納言の挑戦状』（2013年 三省堂）
- 【監修とコラム執筆】『本日もいとをかし!! 枕草子』（2014年4月 KADOKAWA）、『人生はあはれなり… 紫式部日記』（2015年3月 KADOKAWA）『マンガで楽しむ古典 枕草子』（2015年8月 ナツメ社）



七タイプントでの授業風景

い し か わ た か し
石川 敬史

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 図書館学、図書館文化史



活動の概要

- 【担当科目】「図書の文化」「図書館概論」「図書館サービス概論」「情報サービス演習」他
 【研究内容】●近現代の日本の公立図書館における館外活動を対象に、地域に生きる住民の視点で、全国各地の移動図書館(自動車文庫)の足音と読書運動の呼吸を読み解いています。また、近年は「移動販売車」や「移動博物館車」など、自動車で移動するさまざまな活動を実地調査しています。

地域連携・社会貢献活動

- 新座市図書館協議会委員
- 和光市図書館協議会委員
- 埼玉県子供読書活動推進会議委員長
- (公社)日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修(2)講師(2014-2017)
- 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 司書専門講座講師(2015-2018)・社会教育主事専門講座講師(2015-2016)
- 新座市民総合大学文学部子どもの読書応援学科コーディネーター(2015-2016) など、各地の公立図書館・大学図書館等の研修会講師多数。

具体的な活動

- 埼玉県図書館協会総会記念講演会(2016)
- 和光市図書館下新倉分館開館記念講演会(2016)
- 埼玉県立朝霞西高等学校図書委員会合同ワークショップ(2016-2017)の開催。連載記事として、『図書館車の窓』(株式会社林田製作所)、『うごく・はこぶ』(郵研社)。司書課程では日本事務器株式会社、キハラ株式会社などと産学連携(手話つきOPACガイドダンス動画制作、オリジナルブックトラックづくり)。埼玉県内の図書館・書店において学生のオススメ図書やPOPの展示等。

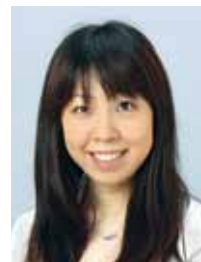


オリジナルブックトラック

お ち あ い ま ゆ
落合 真裕

人間生活学部 文芸文化学科 講師

専門分野 英文学(現代演劇)、英文学におけるユーモアと笑い



活動の概要

- 【担当科目】「文芸文化概論」「世界の演劇」「笑いの文化」「外国文化論A」「比較文化論」「海外文学の名作」他
 【研究内容】●イギリス文学作品における笑いユーモアについて
 ●イギリス演劇における笑いユーモアの効果と仕掛け ●イギリス現代演劇とテレビドラマにおける笑いユーモア

地域連携・社会貢献活動

- 日本笑い学会関東支部役員(運営委員)
- 日本バーナード・ショー協会役員(運営委員)
- 日本英語文化学会大会運営委員

具体的な活動

- 主に学会、研究会などを通じて、学生のみならず社会人に向けてもイギリス文学におけるユーモアやイギリス流のユーモアに関する研究発表、講演を行っている。また、学生に舞台、演劇空間に実際に触れてもらうために学外で劇場見学、演劇関連資料館の見学、演劇鑑賞なども実施している。



新座市内大学公開講座

かとうあきこ

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 舞台芸術、宝塚研究、情報教育



活動の概要

【担当科目】「芸術文化ゼミI」「舞台芸術B」「女性と文化」「情報処理演習I・II」
【研究内容】● 芸術と文化を研究課題。主なテーマは「宝塚研究」。 ● 芸術鑑賞と公演比較など、様々な公演の評論。

地域連携・社会貢献活動

● 地域向け、舞台芸術を推進すべく公開講座を実施。
平成29年度 新座市東北コミセン イキイキ実年学級(高齢者講座)
「宝塚歌劇の魅力を知る」担当
放送大学 埼玉学習センター面接授業担当(H30年6月)

具体的な活動

【著作】
●『宝塚歌劇団スタディーズ』(共著) 戎光祥出版青弓社
●『宝塚イズム』公演評連載(2007年～2017年)
●『給食ニュース』パソコン講座連載(2014年～2016年) 少年写真新聞社
● 学生に舞台芸術に触れる機会を作るため、歌舞伎や狂言、宝塚歌劇や劇団四季の観劇を推進し、引率を行っている。その他、学内において、学生が大学生としてより充実した学生生活を送れるよう、学生支援活動も行っている。



こばやしみのる

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本近代文学、翻訳文学史



活動の概要

【担当科目】「文芸文化入門」「日本文学史C」「日本と異文化」「日本文学論B」「日本文学研究B」
日本近代文学(明治～昭和)に関する科目と、日本における異文化について考察する科目が中心。
【研究内容】● 日本におけるロシア文学受容史。特にロシア文学の翻訳家と出版史を研究。

具体的な活動

● 学科の授業「基礎演習」(1年生後期)を利用して、大学周辺地域の風景をもとにしたフォトエッセイ制作を学生に指導している。

シーラクリフ

語学教育セクター 教授

専門分野 着物、ファッション



活動の概要

【担当科目】「創作ワークショップD」「日常英会話入門」「文化と歴史」他
【研究内容】● 着物の流行、ファッション性とその意味。
● 今後の着物のあり方について ● 外国における着物文化の受容と広がり等

地域連携・社会貢献活動

● 着物に関する各種展覧会の運営(イギリス、ドバイなど)
● 日本、イギリス、韓国、ハワイでの着物文化に関する発表、講義を開催
【主な著書】
●『The Social Life of Kimono』(Bloomsbury 2017年) ●『日本のことを英語で話そう』(中経出版 2012年)
【主なメディア出演】
●『エコの作法』(2013年2月 BS朝日) ●『TOKYO FASHION EXPRESS』(2014年9月 BS NHKワールド)
●『TOKYO EYE』(2015年2月 BS NHKワールド) ●『毎日新聞』(2016年1月4日付)
●『PRESIDENT』(2016年3月 14号) ●『JAPAN EASY 2』(2017年7月9日 NHKワールド)
●『NEWS EVERY』(2017年7月27日 日本テレビ)

たけだひろお

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 万葉集、古事記、日本霊異記、口承文芸、民俗事象



活動の概要

【担当科目】「文化を考える」「神話・伝承学」「日本の文化」「日本文学論」「日本文学研究」「日本文化研究」他
【研究内容】● 日本の古代における思想と表現との関係について、日本霊異記などの宗教的言説のテキストの生成と儀礼との連関について考察すること
● 日本近代において民俗学という言説が生成するプロセスと日本の近代文学との連関、および近代文学における民俗的想像力の表現を分析すること
● 文学作品や伝承にあらわれた環境認識と表現について考察すること

地域連携・社会貢献活動

● 社会人向け講座で、日本文学、民俗学、神話・伝承学などを講じることで、研究成果を社会へ還元するとともに、社会人教育を支援している。

具体的な活動

● 社会人向け講座で、日本文学、民俗学、神話・伝承学などを講じている。

たにしまみわの

人間生活学部 文芸文化学科 有期助手

専門分野 日本美術史



活動の概要

【研究内容】● 物語絵画

地域連携・社会貢献活動

● 新座市と市内にある大学との連携事業である「新座市内大学公開講座」にて講義を担当

ひぐちかずたか

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本美術史、江戸時代絵画史



活動の概要

【担当科目】「芸術と人間」「テーマで触れる芸術」「博物館概論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館実習I」「博物館実習II」
日本美術の流れと特質。博物館における美術作品などの資料展示について。
【研究内容】● 円山応挙を中心とする江戸時代絵画史。浮世絵。
● 日本における美術コレクション、鑑賞史の研究。

地域連携・社会貢献活動

● 新座市内大学

具体的な活動

● 美術史研究においては実際の作品を見ることが一番の勉強になると考え、授業で首都圏の美術館・博物館への見学をたびたび行っている。



東京国立博物館にて美術作品鑑賞

よ し も と め ぐ み

好本 恵

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 声の日本語、朗読、コミュニケーション



活動の概要

【担当科目】「音声表現」「芸術とことば」「くらしと日本語」「朗読・ナレーション」「放送概論」「女性と文化」他
【研究内容】 ● アナウンサーとして番組制作に携わってきた経験を生かし、放送を中心に声の日本語について考察している。
著書に『話しことばの花束』（リヨン社） 『ハッピーチャイルドに育てる19の知恵』（NHK出版）
『教科書に載った名作〜ことばを育てる』（朗読CD・日外アソシエーツ） などがある。

地域連携・社会貢献活動

- NHK番組の他、官公庁や新聞社などの主催するシンポジウム、式典、青少年のためのコンサートなどの司会を務める。
- 子どものことばを育てる活動に参画

具体的な活動

- 学生と国立国語研究所などへ見学に行く、取り上げた作家のゆかりの地を訪ねる、平和祈念展示資料館で公開授業を行うなどの活動を行った。



桐華祭講演会「小泉八雲と地域づくり・人づくり」

10

言語学

いけま りよこ
池間 里代子

語学教育セクター 教授

専門分野 中国文学、日中文化交流、中国語教育



活動の概要

【担当科目】「中国語Ⅰ・Ⅱ」「中国語検定対策」「総合科目—にぎぎ十文字発世界へ—」
【研究内容】●「紅樓夢」の文体・日本への影響／日本イメージの水脈

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
新座市の友好都市・中国済源市との交流事業
総合科目「にぎぎ十文字発世界へ」においてグローバルを体現する授業を展開
放送大学での講義(中国語・中国古典文学)

具体的な活動

- 中国 済源市の花である牡丹の文化誌を一般向けに講演した。
- 「にぎぎ十文字発世界へ」では学生に取材の方法を講義するとともに取材対象者の母国を研究、取材後にWEB動画に加工し、学生とともに学会発表を行った。



メディアコミュニケーション学科4年生の
卒論テーマ発表会を終えて

おがさわら のりこ
小笠原 典子

語学教育セクター 教授

専門分野 外国人のための日本語教育



活動の概要

【担当科目】大 学：留学生のための「日本語」「日本語表現技術」「日本語能力試験対策講座」他
留学生別科：「日本語関連の資格試験対策講座」他
【研究内容】●日本語教材研究
●面接による日本語力測定
●日本語学習の効果

地域連携・社会貢献活動

「総合科目」授業を通しての活動であるが、
●新座市及び近隣の外国人へのインタビュー取材を通じ、互いの文化を知る一歩とした。

具体的な活動

- 今後も授業を通して留学生と地域の交流が図れる活動を行いたい。

こうご ともみ
向後 朋美

語学教育セクター 准教授

専門分野 言語学・英語学、ことばのしくみ、英語のしくみ、ことばへの気づき



活動の概要

【担当科目】「ことばのしくみ」「英語学」「ことばへの気づきワークショップ」「英語教科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「教育実習」
【研究内容】●私たちは毎日のように新しい語をつくったり、文を発したりしています。実はこの新しい語や文は、私たちの頭の中に備わっている「きまり」に知らず知らずのうちしたがって生み出されているものなのです。普段はまったく意識されないこの「きまり」とはどのようなものなのかを、実際の言語資料(人間が書いたもの、発話したもの)を集め、分析しています。

地域連携・社会貢献活動

- 2012年11月、「モチベーションを高める工夫の研究 ～外国語学習におけるモチベーション～」
和光市教育委員会主催教育研究会 一斉授業研究会(外国語部会) (於和光市立第三中学校) 講師
- 2015年1月、「名詞の後置修飾にまつわる小ネタ」
志木市教育委員会外国語主任会授業研究会(於志木市宗岡第二中学校) 講師
- 2017年11月、志木市教育委員会主催志木市立小・中学校一斉授業研究会の研修講師

したら ゆうこ
設楽 優子

語学教育セクター 准教授

専門分野 英語音声学、音韻論



活動の概要

【担当科目】●「英語音声学」他
日本語が第1言語の人は言葉をカナで記憶していると思われます。アルファベットで言葉を書く人は、おそらく言語をその文字の組合せとして記憶するでしょう。私たちが、母語や外国語音をどう記憶するかに関心があります。
【研究内容】●英国式・米国式・和風フォニックス ●リズム・イントネーションの教授法
【大きな目標】●世界中のどの年齢層の話者にも通じ易い英語の発音のプロモーション

具体的な活動

- 1985-86年、1990-1996年に米国と英国に留学していたことと今ではずいぶん英語も変わってしまっているようです。
映画やドラマで英語の作品は英語で観ていますが、いつも勉強が必要です。
最近毎年行っている英語映画アカデミー学会誌への寄稿を続けつつ、常に新しい情報に触れていたいと思っています。



Brighton大学で教師3人で

ほしの ゆうこ
星野 祐子

人間生活学部 文芸文化学科 准教授

専門分野 日本語、コミュニケーション、話しことば



活動の概要

【担当科目】「日本語表現」「日本語学入門」「日本語学A(日本語の歴史)」「日本語学研究A(日本語文法)」他
【研究内容】●話し合い場面をデータにしたコミュニケーション研究 ●論理的な文章の書き方
●効果的な話し方・聴き方 ●身近なメディアと日本語表現 ●ディズニーアニメの日英表現研究
●おいしい言語学(グルメ雑誌やお菓子のパッケージを資料に、キャッチコピーに用いられるオノマトペや外来語の使用について研究)

地域連携・社会貢献活動

- 大学マスコットキャラクター「プラスちゃん」を活用した地域活性化事業
- 子ども大学しき・子ども大学にぎざ実行委員 ●子ども大学講師
- 市職員向け教養講座講師 ●高等学校における講演会講師
- 放送大学東京足立学習センターでの面接授業担当など

具体的な活動

- プラスちゃんの活動をサポートする「プラスちゃんくらぶ」の学生と共に、地域イベントに参加。地元新座や周辺地域のイベントを盛り上げる活動を行う。
- 講義や講演では、普段意識しない日本語の面白さを伝えることを意識。子ども大学ではオノマトペをテーマにした授業を行う。
- 高校生向けの講演や教養講座では、ディズニーアニメやJPOP、ゆるキャラなどを取り上げ、日本語の奥深さや表現の楽しさを伝える。



プラスちゃんとコバトン・さいたまっちゃん

まつなが しゅういち
松永 修一

人間生活学部 文芸文化学科 教授

専門分野 言語学、方言学、コミュニティーデザイン



活動の概要

【担当科目】「フィールドスタディー」「言語学入門」「日本語学Ⅱ」「日本語音声学」「キャリアサポート」他
【研究内容】●地域言語(方言)、特に東京語、南九州の言語変化とバリエーションについて調査研究を行なっています。
●コミュニティーデザイン・ワークショップデザイン

地域連携・社会貢献活動

- 新座市職員女性活躍のためのワークショップファシリテーター
- 南九州における、地域活性化事業サポート
- 宮城県：宮崎、日南、都城、高原などの地域活動のアドバイザー
- 福島県猪苗代町はじまりの美術館と周辺住民の方々とのコミュニティー作り
- 埼玉県：小川町の中山間地、小川町七夕まつりの学生とのサポートは7年目
- 防災ワークショップ、女性が住みやすいまちづくりワークショップ

具体的な活動

- 地域言語研究：九州沖縄の島嶼部山間部を訪れて、地域の方々とコミュニケーションをとりながら地域文化や言語文化について調査研究を行なっています。また、研究と並行して、さまざまなコミュニティーをつなぎ対話をイノベーションにつなげる仕組みづくりを行っています。働き方を考えるワークショップや地域作りのサポート、イノベーションファシリテーターとして活動しています。

もりた かつゆき

森田 勝之

語学教育セクター 教授

専門分野 神経言語学、神経哲学



活動の概要

【担当科目】「英語」「映画ドラマ英語」「ビジネス英語」「卒業論文研究」

【研究内容】● 英語を聞いた時、読んでいる時脳の中でどのような処理が行われているかを調べています。具体的には、①幼児期の英語の習得が脳に与える影響について、バイリンガル、カナダの研究者と共同研究をしています。②映像が言語とどのような関係あるのかを調査しています。

地域連携・社会貢献活動

● 養護施設の子供たちを預かったり、一緒に過ごすことを通じ、子供の精神的発達を助けようとしています。

具体的な活動

- 絵画、英語教室開いて教えています。
- 夏休みや冬休みにフレンドファミリーとして数日一緒に過ごします。
- 虐待をうけた子供の心を癒すために、絵画セラピーを学び、活かしています。
- 英語の苦手な子供たちのために、中学英語の文法を網羅した英語の物語を製作し、読み聞かせを行っています。



読み聞かせのために作成したストーリー仕立ての英文法▶

芸術・スポーツ

いしやま たかゆき

石山 隆之

カレッジスポーツセンター 教授

専門分野

スポーツビジネス、女子サッカー、地域スポーツ、オリンピック



活動の概要

【担当科目】「地域発2020オリンピックパラリンピック ムーブメント」他

【研究内容】●講義を通してのオリンピズム啓蒙が、十文字卒業後に教員や栄養士、幼稚園教諭などの未来で活躍する学生たちを通し、次世代の子供たちに受け伝えてゆくプロセスが実践されることを目指していく。教室からフィールドへ。さらに、学生から学生へのリレーへとムーブメントを広げていく。 【そ の 他 】●FC十文字VENTUS

地域連携・社会貢献活動

●一般社団十文字スポーツクラブの活動を通して、地域の子供達にスポーツ指導を行うことや、学生の教育活動の実践の場として活用応用している。また、新座市長杯はじめサッカーの地域フェスティバル開催を通して地域連携を深めている。

●なでしこチャレンジリーグに参入するFC十文字VENTUSを地域と共に盛り上げ、女性が輝くまちづくり実現を目指す。 <http://fcjumonjiventus.com/index.html>

具体的な活動

- 東京オリンピック・パラリンピック成功のために地域スポーツコミュニティが担うべき役割の理解を常にベースに据えながら授業やサッカーの活動を展開していきたい。文部科学省が掲げるスポーツ基本計画法に基づき地域社会におけるスポーツに求められる役割と機能の理解と文部科学省スポーツ立国戦略の考えを実践し、検証していく。
- 十文字フットボールクラブ 全5チームの活動と新座市長杯や清瀬市長杯、十文字カップなどの大会を推進していく中で、大学と地域の共生の新たな形を研究しつつ、学園型総合スポーツクラブの活動を実践していく。



FC十文字VENTUS 2018
シーズンメンバー

くぼ た ようこ

久保田 葉子

人間生活学部 人間福祉学科 講師

専門分野

ピアノ、音楽表現、音楽アウトリーチ



活動の概要

【担当科目】「表現活動(基礎)」 「表現活動(応用)」 「音楽」 「保育の表現技術I(音楽表現)」 「保育の表現技術II(身体表現)」 「保育の表現技術V(ピアノ)」

【研究内容】●ピアノによる色彩豊かな音楽表現 ●子どもの表現を引き出す実践研究
●音楽アウトリーチの方法と実践
●十文字学園女子大学の学生と創る表現活動の展開

地域連携・社会貢献活動

【COC事業「ふるさとにいざー」オータムコンサート」】

- 2015年：ヴァイオリンとピアノによる室内楽と、学生による手話ソング
- 2016年：ピアノ・トリオの演奏と、新座の民話を基にしたオリジナル朗読作品の発表
- 2017年：マリンバとピアノのアンサンブルと、新座の歴史や自然をテーマにした朗読詩「野火止の水と緑と」の創作・初演
- 新座市教育委員会／本学共催事業「ふるさと新座館のピアノを弾いてみよう スタインウェイをあなた色に」



2016ふるさとにいざー「オータムコンサート」
2016.10.8(ふるさと新座館)

具体的な活動

- 「アルテリッカしんゆり2014 華の歌祭り」出演(2014年)
- 「モーツァルトVSグリーク 知られざる2台ピアノの競演」出演(2016年)
- 保育園・特別支援学校・小中学校・美術館へのアウトリーチ・コンサート
- グリーク「抒情小品集全曲演奏会」出演と曲目解説一部執筆(2014年)
- 「野火止の水と緑と」作曲(2017年)

しば やま けい

柴山 桂

カレッジスポーツセンター 有期助手

専門分野

サッカー指導



活動の概要

- サッカー指導を専門に活動しています。今年度もFC十文字VENTUSで監督を務めます。

地域連携・社会貢献活動

- 一般社団法人十文字スポーツクラブにて、各種スポーツ教室を開催しています。幼児サッカー・小学生女子サッカー・親子リトミック教室など。

具体的な活動

- 今年度もプレナスチャレンジリーグに参戦いたします。1つでも上の順位を目指し、活動させていただきます。

そ う ま ま り

相馬 満利

人間生活学部 健康栄養学科 助教

専門分野

形態計測学、バイオメカニクス、測定評価学



活動の概要

【担当科目】「身体運動I」「健康づくりの運動」「運動学」「バイオメカニクス」「保健体育科教育法」

【研究内容】●人体形状の定量化から競技に特化した形状変化
●発育発達における形状変化を明らかにし、客観的、数量的に身体をより詳細に提示、評価する取り組みを行っている。

地域連携・社会貢献活動

- 地域連携共同研究所 プロジェクト研究「十文字学園女子大学シニア健康教室」において、「スポーツを科学する」ミニ講義および高齢者対象のストレッチを実施。

- 東京都体育協会「東京都ジュニア選手の発掘・育成プロジェクト」
- 日本ソフトボール協会 女子ジュニア・U19育成中央研修会 スタッフ
- 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団「競技力向上テクニカルサポート事業」(カヌー・アーチェリー・ウエイトリフティング・バドミントン・陸上)

た な や ゆ う い ち

棚谷 祐一

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科 准教授

専門分野

曲、編曲、音楽制作・プロデュース



活動の概要

【担当科目】「サウンドデザイン基礎・応用」「音声制作(ラジオ、ラジオドラマ)」「音楽表現論」「専門ゼミ(音楽・音響コンテンツ制作)」

【研究内容】●作曲・編曲活動 ●CD等音源制作・プロデュース
●演奏活動 ●ポピュラーミュージック研究

地域連携・社会貢献活動

【COC事業】

- 本学「十文字ラジオ研究部」による志木市のコミュニティ局「クローバーラジオ」のレギュラー番組「JUMONJI☆ Campus Tea Party」の制作指導および編集を行っている。

具体的な活動

- 2016年8月からCORNETSのアルバム再発に伴う新録音源のプロデュース(2018年11月29日、メトロトロン・レコードより発売)
- 本学のマスコットキャラクター「プラスちゃん」のテーマソング「大好き! プラスちゃん」の作詞・作曲・編曲およびプロデュースを担当。

な だ ち ひ で あ き

名達 英詔

人間生活学部 幼児教育学科 教授

専門分野

教科教育、美術教育、造形教育



活動の概要

【担当科目】「造形保育論」「造形基礎II(考えて表現)」 「保育内容の指導法(造形表現)」 「初等図画工作科教育」他

【研究内容】●造形活動における子どもの学びと指導について

具体的な活動

- 造形は世代を超えて人を豊かに育みます。地域の皆さんとともに、造形にできること、その魅力を発見できればと願っています。

ひ ら た ち あ き
平田 智秋

人間生活学部 人間発達心理学科 准教授

専門分野 運動の学習と発達、知覚と運動



活動の概要

【担当科目】「身体運動」「心理学実験実習」「健康と運動」「シーズンスポーツ」他
「こころだってからだです」をキーワードに、体育実技と実験心理を担当しています。
【研究内容】●3次元動作解析を用いて、ブランコ漕ぎを題材に「道具を使った周期運動」の仕組みを研究しています。

地域連携・社会貢献活動

- 子ども大学わこう講師
- 平成27年度「体を動かせば気持ちも動く ～友だちをたくさんつくろう～」
- 平成28年度「あそびで学ぶ仲間づくり」
- 平成29年度「楽しく動かすからだところ」
- 大学体育スノーボード研究会事務局



新座市ロードレース2017
受講生22名と走り、うち3名が入賞しました

具体的な活動

- ここ数年は「健康と運動」という授業で受講生全員と新座市ロードレースに参加しています。

み や の あまね
宮野 周

人間生活学部 幼児教育学科 准教授

専門分野 美術教育、幼児の造形表現



活動の概要

【担当科目】「造形基礎I(感じて表現)」「保育内容の指導法(造形表現)」「造形保育論」

地域連携・社会貢献活動

- 【COC事業】
- ワークショップ×ワークショップ2017edu「はって!けずって!おはながみマジック!」担当(於立川子ども未来センター)
 - 埼玉県幼稚園等新規採用教員研修会講師(於埼玉県立総合教育センター)
 - 幼児造形教育研究会夏の研修会講師、さんもっくの会講師
 - 子育て講座「はらっぱ」講師(於十文字学園女子大学附属幼稚園)



立川ワークショップの活動を終えて

具体的な活動

- 「子ども元気プロジェクト」(COC事業)では、大学が持つ知的資源を活用し、子どもの育ちや保護者・学生の子ども理解を豊かにする場の提供として、造形遊びに関する研究プロジェクトを学生とともに子ども立川未来センターにて実施した。本プロジェクトの研究成果は日本保育学会にてポスター発表(共同)を行う。また現職教員に向けた初任者研修や幼稚園の保護者対象の研修を担当した。

やぶ さ き しん い ち ろ う
薮崎 伸一郎

人間生活学部 幼児教育学科 講師

専門分野 声楽、幼児音楽



活動の概要

【担当科目】「音楽基礎I(歌唱法)」「音楽基礎II(ピアノ基礎技術)」「音楽基礎III(楽器演奏)」「ミュージック・クリエーション」「幼児音楽論」他
【研究内容】●声楽演奏の実践と作品研究 ●保育者の子どものうたに関する認識について
●保育者養成校における歌唱指導について ●子どもの歌の表現法について
●声楽における呼吸法 ●発声法について

地域連携・社会貢献活動

- 保育園・幼稚園における出張コンサート(音楽アウトリーチ)

【COC事業】●「子ども元気プロジェクト2017」

子ども元気プロジェクト2016
(音楽・造形あそび)の様子



具体的な活動

- 2017年度は、本プロジェクトの3年目の取り組みとして活動の場を広く地域に移し、子育て支援プロジェクト「子ども元気プロジェクト2017」を実施した。このプロジェクトは、大学の知的資源を活用し、子どもの育ちを豊かにする機会を提供することで、地域の子ども、その保護者、保育者を目指す本学学生の育ちを検討することを目的に実施した。研究成果は、各種学会等での発表を通して社会に還元している。

わた な べ た か え
渡邊 孝枝

人間生活学部 幼児教育学科 助教

専門分野 子どもの身体表現、舞踊教育学



活動の概要

【担当科目】「保育内容の指導法(身体表現)」「体育基礎II(身体表現)」「身体表現論」他
【研究内容】●幼児の身体表現指導(擬音語・擬態語を中心とした教諭による言葉かけの研究等)
●身体表現活動におけるコミュニケーションの特徴 ●身体表現活動と子どもの育ち／保育者の学び

地域連携・社会貢献活動

【COC事業】

- 乳幼児を子育て中の保育者が行うピア・サポートとしての子育て支援事業「+ (プラス) ママの子育てサロン」開催と有効性の検討(H26年～)
- 練馬区立幼稚園教育会講師(H27年、研究主題「心豊かな幼児の育成を目指してー表現活動を楽しむ指導の工夫ー」)
- 横浜市幼稚園協会 金沢区全体研修会講師(H28年、テーマ「豊かな身体表現を育む～「動き」と「ことば」に着目して～」)
- 文京区立お茶の水女子大学子ども園 第2回お茶大子ども園フォーラム、ワークショップ担当講師(H29年、テーマ「カラダで遊ぼう!」)

具体的な活動

- 子どもたちが日常の生活の中で知っていること、感じたこと、想像したことをもとに、様々な対象になりきり、生き生きと身体表現活動できるよう、指導、援助について研究を行っています。指導が難しいと捉えられることの多い身体表現活動ですが、実際の保育現場での活動や、現職の先生との交流を通じて、その楽しさや教育的な意義を伝えていけるよう、「実践ー教育ー研究」の循環を大切に活動しています。

健康

い い だ ろ か
飯田 路佳

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 健康増進学(加齢と運動と健康に関する研究)、健康のためのダンス



活動の概要

【担当科目】高齢者や運動の苦手な人にも気軽に行える、椅子に座ったまま音楽に合わせて楽しくからだを動かす「チェアダンスムーブメント」を推奨しており、「健康づくりの運動A」では、学生達自身が指導できるように養成している。

【研究内容】●地域で主に高齢者のダンスや体操の指導をしている方を対象とした研究会における勉強会を主催している経験から、運動を継続する人たちは若く見えるというエビデンスを得ようとしている。

地域連携・社会貢献活動

- 「シニア健康教室」では地域の高齢者を対象とした、ミニ講話と運動のプログラム
- 「ムーブメントコレクション」では、文化祭ではゼミ活動の一環として近隣の健康体操やダンスの高齢者グループを招き演技発表支援
- 健康栄養学科の学生やダンス部の学生達と連携を取り、近隣のイベントなどに、ダンス等で盛り上げていく活動支援



具体的な活動

- チェアエクササイズや健康体操などでの参加要請や講習養成があれば、可能な範囲でできるだけお引き受けしたい。少しでも多くの方々に、学生の若さと笑顔とともに元気を伝えたい。
- 高齢者や、運動が苦手な方も笑顔になれるような「参加型プログラム」の開発。そして多くの学生達がその手法を身につけ、たくさんの場所に派遣できることが理想。最終的には学生達と共に、地域の方々へ「いきいきとした毎日をすごせるところからだ」を目指すお手伝いをしたい。

桐華祭にて「ムーブメント・コレクション」ご出演者のみなさまとゼミ生たち

た か は し ま さ と
高橋 正人

人間生活学部 健康栄養学科 教授

専門分野 内科学、内分泌代謝学、男性ホルモン、スポーツ医学



活動の概要

【担当科目】「解剖生理学」「解剖生理学実験」「運動プログラム演習」「病態生理学」「運動生理学実験」「公衆衛生学」「その他大学院科目」他

【研究内容】●運動・スポーツと男性ホルモン ●ドーピングにより副作用を呈した患者の臨床研究
●日本におけるドーピングの調査など

地域連携・社会貢献活動

- 平成27～29年度地域連携共同研究所プロジェクト研究「十文字学園女子大学シニア健康教室」において、参加者のシニア世代の皆さんに日体協公認スポーツドクターの立場から「健康と運動」のミニ講義を行う。また平成27-28年度、文科省科研費を受けている共同研究「自立度が異なる地域在住高齢者の身体機能の経年変化および運動・栄養プログラムの検討」に参加し、実際に地域参加者に対応している。

具体的な活動

- 今後は自分の研究の専門性を生かし、スポーツにおける薬物・サプリメントの接し方に対し、近隣の小学校・中学校・高校で生徒および教職員、保護者に対し講義を行う意思はある。自治体、教育委員会、学校の対応を待っている。

と く の ゆ う こ
徳野 裕子

人間生活学部 健康栄養学科 准教授

専門分野 健康維持するための食に関する分野



活動の概要

【担当科目】「公衆栄養学概論」「健康食育論」「女性と健康」「食と発達」「栄養教諭実践論」他

【研究内容】●食と環境の結びつきに関する研究 ●エストロゲンと骨との関係について
●体重や身長、体脂肪率を中心とした身体計測からの栄養評価 ●健康に貢献できる食品(主に、野菜について)
●スポーツ選手のコンディショニング管理のための栄養教育 ●スポーツを行っている子ども達への健康栄養指導
●食事コーディネータ活動

地域連携・社会貢献活動

- 地域への活動として健康栄養学科主催「シニア健康教室」のスポーツ栄養を担当。また、ライフバランスの中での仕事と生活について新座市の方々と考えの機会を戴き、新座市男女共同参画審議委員会を務めさせていただいている。新座市の方々が健康に生活できる環境づくりにご協力できればと思う。

具体的な活動

- 2016年から公認スポーツ栄養士としても活動を行っており、2020年の東京オリンピックをきっかけに、多くの方々が運動と栄養についても興味を持たれている。今年は、必要とされる方々に「健康を維持・増進するためのスポーツ栄養」についてお話をしていきたい。トップアスリートの減量を必要とするスポーツ選手にも積極的に「食べて減量」を説明していきたい。



中学校でのスポーツ栄養についての講義風景

まつもと あきひろ
松本 晃裕

人間生活学部 食物栄養学科 教授
専門分野 循環器内科学、内科学、心臓リハビリテーション、運動生理学



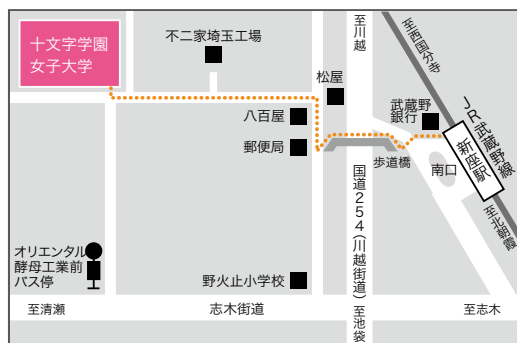
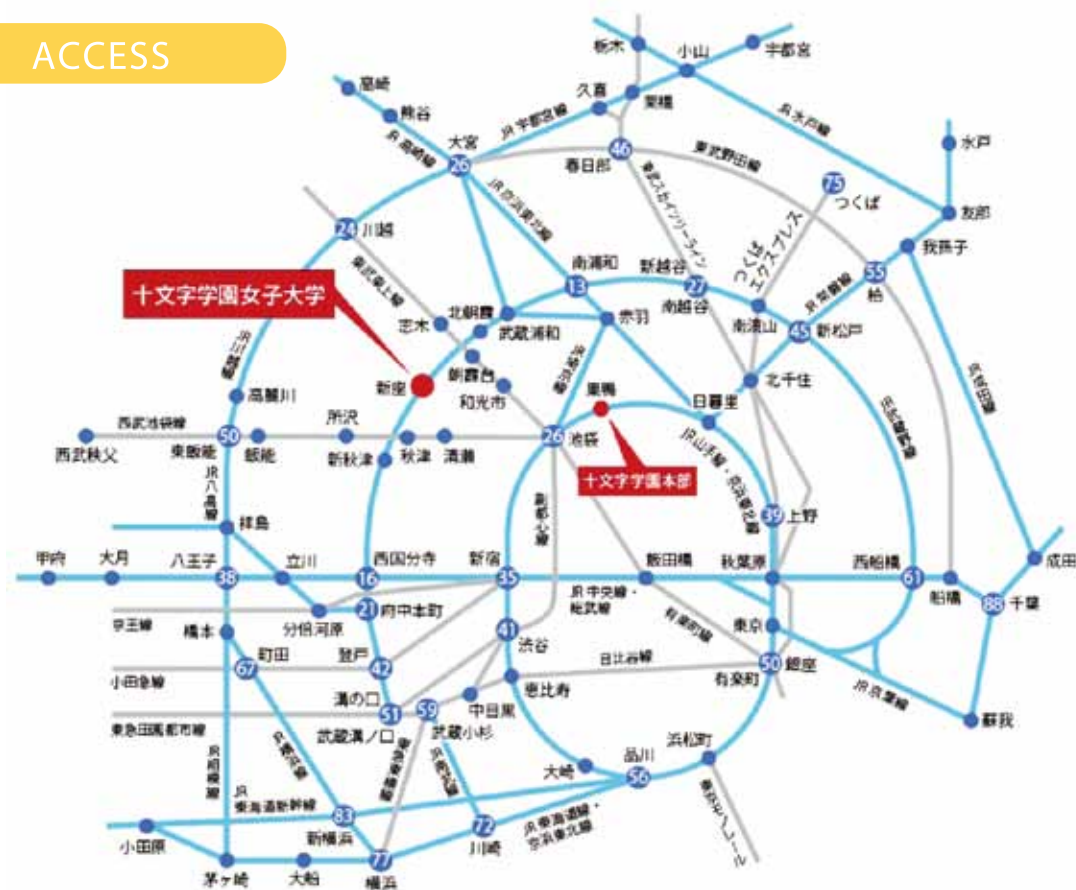
- 活動の概要**
- 【担当科目】「医学概論」「病態生理学」「系統別疾病学」「運動生理学実習」
- 【研究内容】 ● 運動中の呼吸循環動態と運動耐容能
● スポーツ医学 ● 生活習慣病の運動療法 ● 心臓リハビリテーション
- 具体的な活動**
- 【COC事業】
● 十文字フットボールクラブの選手の最大酸素摂取量などの全身持久力測定と、心機能の測定などを行い、アスリートに対するサポート活動を行なっている。
- 【社会貢献活動】
● 東京体育館 非常勤嘱託医 ● 江東区健康センター 非常勤嘱託医
● 日本心臓リハビリテーション学会評議員

- 具体的な活動**
- 十文字フットボールクラブ以外にも他大学の駅伝部、ウエートリフティング部選手の最大酸素摂取量などの全身持久力測定と、心機能、呼吸機能、全身の筋肉量の測定などを行い、アスリートに対するサポート活動を行なっている。また地域住民に対しては運動負荷検査などのメディカルチェックにより、個人個人に適した運動処方を行なっている。



女性の生涯学習と自立を支援する十文字学園女子大学
誰もが持つ「学びたい」に私たちが貢献できること。

ACCESS

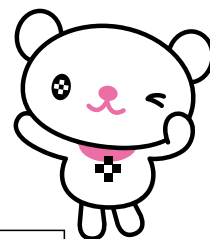


- JR武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車
「清瀬駅行」バスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車
「志木駅行」バスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 副都心線直通 東武東上線「朝霞台駅」下車、徒歩8分
- JR武蔵野線「北朝霞駅」より「新座駅」下車、徒歩8分



十文字学園女子大学

十文字学園女子大学短期大学部



十文字学園女子大学
マスコットキャラクター
「プラスちゃん」

地域連携推進課

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28 (JR 武蔵野線「新座」駅徒歩 8 分)
TEL.048-477-0555 (代表) 048-477-0958 (直通) <http://www.jumonji-u.ac.jp/>